

# 関西大学北陽高等学校・北陽中学校

## 2018 年度学校評価報告書



2019 年 3 月

## 目次

1 本校の概要	1
(1) 沿革	
(2) 建学の精神、教育目標	
2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
重点目標①	2
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標②	3
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標③	4
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標④	5
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
3 アンケートの実施状況について	6
4 アンケート結果の分析	6
・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
・中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	10
(1) 自己評価の結果を受けて	
(2) アンケート結果について	
	関西大学学長補佐 人間健康学部 教授 岡田忠克
6 校長の意見書	12
7 アンケート結果	13

## 1 本校の概要

### (1) 沿革

- ① 1922年6月5日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（<sup>じっげ</sup>学理と実際との調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから3年後の1925年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1946年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2019年の4月には関西大学北陽高等学校第12期生、関西大学北陽中学校第10期生の入学式が行われる。

### (2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

#### ① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学なものの考え方を養う。

#### ② 徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者と共に生きるために必要な高い徳性を養う。

#### ③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

## 2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

### (1) 重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スローラーナーへの対応」項目で保護者対象アンケート肯定率 60%、生徒対象アンケート肯定率 70%以上</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>高校では、月～金まで朝の SHR で小テストを実施し、基礎学力の向上を図っている。また、特進コースで、定期テストの成績不振者に対し補習を行っている。中学校においては、一人ひとりの学力に応じて取り組めるクラウド型学習システム「すらら」を導入し、学力向上を図っている。さらに、手厚い指導をするために、英語の一部授業で少人数授業を展開している。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(高校) 保護者対象アンケート：57% (△) 生徒対象アンケート：68% (△)</li> <li>・(中学校) 保護者対象アンケート：61% (○) 生徒対象アンケート：77% (◎)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>高校では、関西大学の内部進学制度の変更があり、それに伴ってシラバスの見直しを進める中で、スローラーナーへの指導を確立していきたい。中学校では、生徒の学力を把握し、先取り学習を見直し、豊富な授業数のもと、基礎学力の充実を図っていききたい。</p>
<p>イ 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西大学への内部推薦の合格率 90%以上</li> <li>・特進アドバンスクラスから国公立大学に、15名の合格</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>関西大学への内部進学制度が変更され、外部テストは、査定に使用しなくなったが、大学進学に必要な学力を養うために、独自で、実力を測るテストを実施した。特進アドバンスは、国公立型のカリキュラムのもと、7時間授業、学習合宿、特別授業など豊富な授業時間のもと高い学力を身に付けさせた。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部進学率 87% (△) 希望者 295 名中 257 名合格</li> <li>・大阪大、神戸大、大阪教育大、和歌山大、山口大、徳島大、愛媛大、神戸市看護大、岡山県立大 各 1 名</li> <li>合計 9 名合格 (×)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>北陽中学出身生徒の内部進学率の上昇はみられなかった。学習合宿の見直しを含め、中学校段階からの指導を、「先取りから定着へ」を目標に、スローラーナーの底上げを図っていく。また、国公立大学合格のためには、一人ひとりにあった指導が</p>

	重要で、個別指導の機会を増やしていきたい。
--	-----------------------

(2) 重点目標②:「多様な学び」を身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア iPad を利用した授業や学習支援ソフトを有効に活用し、ICT 教育を推進する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を利用したアクティブラーニングをテーマに研究授業を各教科、年 1 回実施し、ノウハウを蓄積する。</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>10 月末から 11 月下旬にかけて「ICT を利用したアクティブラーニング」をテーマに、研究授業を行い、教科によっては、学習支援ソフトを有効に使い、興味、関心を持たせた。また、外部で開かれる ICT 教育の研修会に、積極的に参加する教員もみられるようになった。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5 教科、保健体育、技術家庭科で、合計 8 講座の研究授業を実施した。(◎)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>施設・設備において、2019 年度に高校、中学の全教室にプロジェクターが設置され、ICT 環境が整う。また、高校の全クラス(スポーツコースは除く)に iPad が導入される。ICT を活用したアクティブラーニング型研究授業が 2019 年度に 4 年目を迎え、これまでの成果を、研究授業報告書にまとめ、検証する。</p>
<p>イ スポーツコースにおいて、多様な学びを身に付けるために、学校設定科目「スポーツ」で特色ある取組を行う。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師を招いての授業を年 15 回実施する。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>外部講師を招いて、高 1 で人体の構造とスポーツ障がい、テーピングと体幹トレーニング、高 2 でトレーニング理論、コンディショニング管理、スポーツ心理の授業を行った。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師を招いての授業回数：12 回 (△)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>外部講師の授業を参考に、同じ授業テーマを、2019 年度から本校の体育教員が行う。スポーツコースの特色ある授業の一つとして、興味、関心を引く授業を展開していきたい。</p>

(3) 重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p> <p>ア 外部機構のプログラムに応募し、問題解決学習、課題提案学習に取り組む。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部機構のプログラムに応募し、採択される。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>「自ら考え判断する力を養うため」海洋教育パイオニアスクールプログラムに「サンゴの魅力～彩～」 「アマモから繋がる大阪湾再生」をテーマに申請し、2件とも採択された。「サンゴの魅力～彩～」は、採択3年目で、高校2年生の理系クラスで実施するとともに、修学旅行の環境学習とリンクさせた。「アマモから繋がる大阪湾再生」は、採択2年目で、生徒会活動として実施し、全国アマモサミット2018にも参加した。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関のプログラムに2件採択された。(◎)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>「サンゴの魅力～彩～」のプログラムは、3年で終了し、「アマモから繋がる大阪湾再生」のプログラムは、継続して申請していく。全国アマモサミットでは、生徒会と共に、料理部も参加し、活動した。今後も、一人でも多くの生徒が関われるプログラムの実施を検討していきたい。</p>
<p>イ 英語教育による基礎・基本を徹底し、実践的コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学3年の合格目標を英検準2級10%、3級80%とする。</li> <li>高校3年の合格目標を英検2級＝特進アドバンス65%、特進・文理15%、準2級＝特進アドバンス90%、特進・文理60%とする。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>中学校3年間と高校1年・2年の授業において、時間の許す限り4技能のバランスを考慮した指導を進めている。特に、中学校1年・2年や高校1年の特進コースに日本人とネイティブ講師のTT(ティーム・ティーチング)授業を導入し、ライティングに重点を置いた指導を行っている。また、放課後等に英検2次試験に向けた個別指導も行っている。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学3年の合格率 準2級 22%(◎) 3級 57%(×)</li> <li>高校3年の合格率             <ul style="list-style-type: none"> <li>2級＝特進アドバンス 40%(×) 特進 17%(○)</li> <li>文理 11%(△)</li> <li>準2級＝特進アドバンス 92%(○) 特進 51%(△)</li> <li>文理 58%(△)</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>生徒の学習意欲と学力両面における向上を図るために、授業デザインや評価方法について見直したい。さらに、授業内外におけるICT機器のさらなる有効的活用を検討し、生徒がインプットだけでなく、アウトプットにも、より主体的に取り組めるようにしたい。</p>

(4) 重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p> <p>ア 大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中高大連携授業の実践」項目で保護者対象、生徒対象アンケート肯定率 80%以上</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>中学校で防災教育、理工系研究室体験、模擬裁判を大学と連携して実施した。高校では、「関大の知にふれる」というプログラムに参加するとともに、政策創造、社会安全、社会学部の3学部と法科大学院との間で、独自プログラムである連携セミナーを実施した。また、スポーツコースは、人間健康学部と連携して「プロジェクトアドベンチャー」に参加した。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(高校)保護者対象アンケート：80% (○) 生徒対象アンケート：81% (○)</li> <li>・(中学校)保護者対象アンケート：81% (○) 生徒対象アンケート：85% (○)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>中学校、高校と大学との連携プログラムは、年々改善し、新しい連携セミナーを企画するなど、充実を図っている。この取組は、「より大学を身近に」をテーマに、将来の進路実現につながることを目的としている。今後は、広報活動を戦略的展開するためにも、本校の特色ある取組の一つとして、効果的に外部に発信していきたい。</p>
<p>イ スポーツコースの特性と進路希望を考慮し、大学と連携する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1年～3年で体育系大学を含め年3回、大学訪問を実施する。また、スポーツコース独自の大学進学相談会を年1回実施する。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>高校2年で、体育系大学(1校)と総合大学(2校)を訪問した。高校3年で、受験可能性のある大学を訪問し、また、本校スポーツコースの生徒のみを対象とする大学相談会を開催し、進学意識を高めた。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校2年で2回、高校3年で1回、大学訪問を実施した。(○)</li> <li>・高校3年で独自の大学進学相談会を年1回実施した。(○)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>今後は、大学訪問や大学進学相談会だけでなく、主体的に進路実現を果たすためのグループワークなどを取り入れ、進学意識を高めていく。また、体育系学部の先生方の出張講義の機会を設けることも検討したい。</p>

### 3 アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

①「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を 14 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。

②「保護者対象」および「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ 13 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。

③上記の 3 種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。

④「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーと呼ばれる人たちに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

#### ⑤実施日程

##### I 教員対象学校評価

「個人」および「組織」 2018年12月11日（火）～12月21日（金）

##### II 保護者対象学校評価

全学年 2019年1月8日（火）～1月23日（水）

##### III 生徒対象

全学年 2019年1月8日（火）

#### ⑥本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それを基に、2月中旬に評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

### 4 アンケート結果の分析

#### ◆ 中高教員対象 学校評価＜組織面、個人面＞

##### ・組織面の自己評価項目の平均

2016年：2.92    2017年：2.97    2018年：2.91

##### ・個人面の自己評価項目の平均

2016年：2.99    2017年：3.12    2018年：3.11



組織面、個人面の自己評価項目の平均は、少し低下しているが、大きな変動はない。ただ、個人面の自己評価が高い傾向は、続いているため、会議等で先生方の意見を吸い上げ、各課題において、組織的に取り組める学校づくりを進めていかなければならない。

### (1) 学校運営について<組織面>

#### ①ミドルマネジメントによる組織運営

主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。

2016年：2.85      2017年：2.91      2018年：2.98

#### ②会議の有効性

職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。

2016年：3.00      2017年：3.02      2018年：2.83

ミドルマネジメントによる組織運営の評価が年々上昇しているが、会議の有効性については、昨年度に比べ低下した。特徴的なことは、肯定率の低下と、D評価が昨年の0%から7.7%に上昇したことがあげられる。職員会議は、各会議で合意形成された事項の最終報告の場であるが、職員会議までの各会議においては、活発な議論が行えるように活性化を図りたい。また、管理職者と教員、教職員同士の連携において、昨年度に比べ評価が上昇しており、ミドルマネジメントによる組織運営、会議の活性化など、さらなる協力体制の構築に努めていきたい。

### (2) 教育内容、生徒支援について<組織面、個人面>

#### ①スローラーナーへの対応

この項目について、昨年度は、組織面、個人面とも上昇したが、今年度は、少し低下した。スローラーナーへの対応については、教員が重点課題と考えており、教員が議論して、より良い指導方法を模索している。特に、中学校においては、eラーニングを導入し、生徒一人ひとりの学力に応じた指導を行っている。

#### ②中高大連携事業の実践

関西大学との教育連携に対する理解を深め、積極的に協力しているという設問に対しては、組織面、個人面とも3.0を上回っており、大学併設校としての特色づくりに繋がっている。その中で、高校の進路教育においては、学部との連携セミナーの充実を図っている。

### (3) 生徒支援について

#### ①家庭との連携状況

生徒が、充実した学校生活を送る上で、家庭との連携は不可欠である。組織面の自己評価では、2.76と高くないが、個人面の自己評価において、否定率が、昨年の26.4%から11.8%に改善された。この数字は、組織的には、課題があるものの、家庭との連携におい

て、先生方の努力がみられる。

## ②部活動支援状況、学校行事体制、進路指導体制

今年度も、組織面、個人面とも3.00以上の高い評価となっており、これらの項目は、教員が継続して組織的に、かつ、積極的に取り組んでいる。これが、中学校、高校とも、学校生活において、保護者の高い満足度となっている。

### ◆高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

#### （１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

##### ①満足度（学園生活）

保護者：2014年度以降、評価は3.30～3.35だったが、2018年度は下降した。

生徒：2017年度は評価が上昇したが、2018年度は例年並みとなった。(2.95)

##### ②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：例年通り大きな変化はない。

生徒：2014年度より評価は上昇傾向だったが、2018年度においては一昨年度並みとなった。(2.70)

##### ③知育（学力向上における組織的な取り組み）

保護者：2014年度以降、ほとんど変化がない。(2.83～2.92)

生徒：2014年より評価が徐々に上昇傾向だったが、2018年度においては例年並みとなった。(2.87)

##### ④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2014年度以降、ほとんど変化がないが、評価が徐々に下降傾向にある。  
(2.62～2.73)

生徒：評価は上昇傾向だったが、2018年度については評価が下降した。(2.86)

##### ⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2014年度以降、ほとんど変化がない。(3.10～3.22)

生徒：2014年度以降、評価は上昇傾向だったが、2018年度においては評価が一昨年並みになった。(3.09)

##### ⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：2016年度以降、評価が少し高くなり、それ以降は大きな変化がない。  
(2.83～2.91)

生徒：2014年度以降、評価は上昇傾向であり、2017年度は評価がさらに高くなったが、2018年度は評価が下降した。(3.04)

##### ⑦生徒会活動（部活動支援状況・学校行事指導体制）

保護者・生徒とも高い評価を得ている。

#### （２）分析

「学校生活の満足度」の推移を見ると、保護者の評価はあまり変化がない。生徒の評価は、2017年度において非常に上昇したが、2018年度においては昨年度に比べ評価が下降した。大学内部進学の見直し方法が変わったことの影響が一因ではないかと考えられる。しかし、学年

進行に伴い保護者も生徒も評価が上昇している。2018 年度においては、3年の「学校運営」「教育内容」「生徒指導・生徒支援」「教員研修」「その他窓口対応」のほぼすべての項目で、学年進行に伴い高くなっている。勉強のみならず学校行事やクラブ活動、生徒会活動などを通して大きく成長できるような取組を、理解していただいているのではないかと、考えられる。

#### ◆中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

##### （１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

###### ①学園生活の満足度

保護者：2017 年度が 3.18 ポイントと上昇したが、本年度は 2015 年から平均的に 3.0 ポイント程度で推移している。

生徒：昨年度初めて 3 ポイント台となったが、本年度 2.96 ポイントと過去と大きな差がなく推移している。

###### ②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：B 評価が極端に多く、3 ポイントをキープしている。このことから、本校の教育方針等が十分に理解されていないことがうかがえる。

生徒：ここ数年 2.6 ポイント台を上下している状況であるが、昨年度は、2.78 ポイントから 2.82 ポイントとより上昇している。

###### ③知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：2016 年度を底に年々上昇傾向である。ICT 機器の採用や e-ラーニングの実施など評価されているものと思われる。

生徒：昨年度は、3.01 ポイントと初めての 3 ポイント台と上昇したが、本年度は、2.92 ポイントと少々下降となる。

###### ④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2016 年を底に年々上昇傾向であったが、昨年度より、大幅な上昇傾向となる。e-ラーニングによる家庭学習を評価されているものと思われる。

生徒：2016 年度が最も低く、2018 年度は 3.05 ポイントと 2 年連続で上昇している。

###### ⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：昨年度一旦回復したが、本年度は 2016 年度より低下した。

生徒：2017 年度より上昇傾向である。生徒指導部からの注意アナウンスが多かったのが一因と考える。

###### ⑥進路指導

保護者：A 評価が極端に少ないが A、B 評価で 50%以上が良い結果であった。平均的にほぼ例年通りの数字となる。

生徒：過去年度は 2.6 ポイント台であったが、本年度は、2.85 ポイントと上昇傾向となる。

###### ⑦部活動支援

保護者：2015 年度をピークに下降気味であったが、本年度は少々上昇した。

生徒：2015 年度をピークに 2016 年度は下降したが、年々 3.0 ポイントに近づくほどに

上昇した。

#### ⑧学校行事指導体制

保護者：例年3ポイント台と上位で安定している。

生徒：2016年度までほぼ横ばいであったが、2017年度は3.22、2018年度は3.23ポイントと上昇した。

## (2) 分析

全体として昨年度とは逆にほとんどの項目で、上昇傾向となった。補習指導や学力向上については、保護者の大幅な上昇に対し、生徒は変化が少ない。保護者と生徒間でギャップが見られる。生徒本人の学習に対する意識があまり感じられないのが、課題と思われる。

中学生の学校の教育方針への理解に対する評価が低かったが、A評価の人数が年々増加しているのがうかがえる。少しずつではあるが浸透してきているようである。教員が子供の教育のために信念を持っての指導を心がけているが、保護者の教育や学校に対する期待が異なるため、意見の相違も年々多くなりつつあることは変わりがなく、学校方針を理解していただき、学校と共に協力していただくことがとりわけ必要と考える。

クラブ活動においては、保護者の方は、B評価が非常に多く、逆に生徒たちは、A評価がB評価と同様に多く支持されている。保護者と生徒間でのとらえ方にギャップが生じている。

進路指導については、生徒と保護者間でギャップが感じられる。生徒は、面談や日々の中で指導を受けているが、保護者に対しては中3での全体進路説明会のみである。三者面談などを利用して話は個別にしているが、家庭での会話もお願いしたい。

## 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

### (1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、最初に、教員、保護者、生徒対象の学校評価について分析を行った。その後、2018年度の重点目標である ①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす ②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成 ③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育 ④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」について、取組状況、達成状況、今後の改善方策について、意見交換を行った。2018年度の重点目標は、2015年度～2017年度の3年間の取組を検証し、新たな目標を設定した。

学校関係者評価委員からは、本校の教育内容について、肯定的な意見が多く出されたが、その中でも大学進学のための学力の修得と、進路実現について、多くの時間が割かれた。スローラーナーへの対応では、中学生で取り入れているeラーニングについて、生徒がやらされているという感覚を持っているのではないかと、生徒になぜ学習する必要があるのかなど、学習のモチベーションを上げる方策をたてる必要があるという意見が出された。この点については、中高大連携授業やキャリア教育を通して、将来の職業と結び付けて、学習の意義を伝えていきたいと考えている。スローラーナーの対応では、中学生の早い時期からの指導が重要と考えている。その結果が、中学の保護者アンケートの肯定率62%、生徒アンケートの肯定率77%と、高校より高くなっており、数字に表れている。

今年度、関西大学への内部進学制度が年度途中で変更されたため、高校保護者、生徒アンケ

ート結果に影響が出たのではないかという指摘があった。「生徒一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか」というアンケート項目においては、保護者、生徒とも評価が、少し低下している。進路指導部のもと、クラス担任が、生徒とのコミュニケーションを大切に貫いた指導を行ってきたかを検証し、次年度に繋げていきたい。また、家庭とも連携し、将来の職業を考えながら志望学部を決定するなど、生徒の進路意識の向上に、家庭でも協力していただくように伝えていきたい。

## (2) アンケート結果について

2018 年度の評価について、2018 年度学校教育計画、中高(教員対象)学校評価、高等学校(保護者対象・生徒対象)学校評価、中学校(保護者対象・生徒対象)学校評価の結果、ならびに本委員会での議論をもとに、以下、意見を述べる。高等学校・中学校の教職員におかれては、今後の検討課題としていただきたい。

重点目標である「1. 基礎的・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」では、スローラーナーに対する高等教育に必要な学力の修得支援に引き続き取り組まれており、評価指標においても保護者、生徒の肯定率も高く一定の成果がみられている。引き続き教育内容の改善に向けて努力されたい。一方で、関西大学への内部進学合格率については、中学校からの進学者について改善の余地もみられ、学力向上に向けての生徒のモチベーションについて工夫されたい。

「2. 多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、「ロイロノート」「すらら」等、ICTを活用した教育の展開がなされている。また、スポーツコースにおいて、外部講師を招いた授業も実施されており、多様な学びを身につけるための特色ある取組は評価されるものであり、引き続き推進していただきたい。

「3. 『コミュニケーション能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育」では、外部機関と連携し、珊瑚の魅力についての取組を行う「珊瑚の魅力一彩」、アマモから繋がる大阪湾再生への取組も昨年引き続き行われている。今後も学外での学びの効果について強く意識していただき、外部機関、関西大学の各学部・部局との連携について検討されたい。

「4. 大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」では、さまざまな中高大連携プログラムによる取組がなされている。関西大学で何を学ぶのか、学びたいかの意識づけや動機づけは、大学進学後の学びや進路に大きく影響するものである。生徒本人の関心や将来の方向性、実際の学びの内容の間にミスマッチが起こらないよう、引き続き生徒個別のニーズの把握に努めていただきたい。

中高(教員対象)学校評価では、いくつかの項目について組織と個人の自己評価の差がみられるが、おおむね安定した評価となっている。学校運営については、ミドルマネジメントによる組織運営、会議の有効性について大きな変動はないが、個人面の自己評価が高い傾向にあると学校長も指摘している。さらに管理職者と教員、教員同士の連携においてさらにコミュニケーションが活性化されることを期待したい。教育内容については、スローラーナーへの対応についてのポイントが例年に引き続き上昇している。部活動支援状況・学校行事体制・進路指導体制に関して、組織面、個人面とも高い評価となっており、これまでの取組が功を奏したものとなっている。

高等学校・中学校における保護者、生徒からの評価は、昨年、大学内部進学の査定方法の変更による多少の影響はあるものの、各項目ともおおむね高水準で推移しており、これまでの取組が評価されているといえる。引き続き、保護者、生徒にも両校の政策ビジョン、目標をご理解いただきながら、教育の推進、改革に努めていただきたい。

(関西大学学長補佐/人間健康学部 教授 岡田 忠克)

## 2018年度 関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会委員一覧

No.	氏名	任期	備考
1	岡田忠克	H29. 4. 1. ~H30. 3. 31.	関西大学学長補佐 人間健康学部 教授
2	正井省吾	H29. 4. 1. ~H30. 3. 31.	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 会長
3	北原多江子	H29. 4. 1. ~H30. 3. 31.	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 副会長
4	田中敦夫	H29. 4. 1. ~H30. 3. 31.	学校長
5	内田正人	H29. 4. 1. ~H30. 3. 31.	教頭 (高等学校)
6	川崎安章	H29. 4. 1. ~H30. 3. 31.	教頭 (中学校)

## 6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

校長 田中 敦夫

重点目標①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘と今年度の学校評価について記載することとする。

(1) 「学力向上に向けた組織的取組」「スローラーナーへの対応」について、生徒と保護者の間で乖離が見られる。学校と家庭の組織的な連携体制を活性化させていくことが重要となる。

「学力向上に向けた組織的取組」「スローラーナーへの対応」2項目とも、2017年度に比べ乖離の幅は縮小した(グラフ⑦参照)。特に、中学校保護者アンケート結果が、2項目とも上昇しており、補習や個別指導、小テストによる学力定着、さらに今年度から取り入れたeラーニングなど、生徒一人ひとりの学力に応じた指導を、生徒だけでなく保護者の理解も進んでいると考える。

(2) 英語教育において、基礎・基本を徹底し、実践的コミュニケーション能力を育成するため、英検取得率を評価指標としているが、目標未達が多く、課題である。

- ・中学3年の合格率、準2級 6% → 22% 3級 46% → 57%
  - ・高校3年の合格率、2級=特進アド 45% → 40% 特進 12% → 17% 文理 11% → 11%
- 目標未達成もあるが、上に示すように、昨年度に比べ、特進アドバンスクラス以外は、合

格率が上昇している。中学校の合格率の上昇が顕著で、準2級の合格率上昇は、中学3年生で実施している少人数の習熟度別授業の成果だと考える。今後も、4技能をバランスよく指導するとともに、個別指導を実施するなど、英語力の底上げを図っていきたい。

**(3) 目標達成に向けて、基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出し、希望する進路実現に繋げてもらいたい。**

昨年度、関西大学への内部進学率は、93.5%、コース改編後、3年連続90%を超えたが、今年度は、87%と目標の90%を下回った。これは、北陽中学校出身者の合格率の伸び悩みに原因がある。今までの学力向上の方策だけではなく、評価委員からも指摘されているが、学ぶことの楽しさや必要性を伝え、自発的に学習することに興味を持ち、積極的に学習する方向に導くような工夫をしていきたい。また、関西大学への進学をベースに、国公立大学にチャレンジするアドバンスクラス（1クラス）の目標を、国公立大学進学15名としたが、9名と目標に届かなかった。今後、コースの改編も含め検討していきたい。

**(4) 1. 教員同士、教員と職員間の組織的な連携 2. 生徒指導における保護者との連携、これらの課題を解決できるよう積極的な対応を期待したい。**

標記については、(1) 学校運営について<組織面> (P7) 及び(3) 生徒支援について①家庭との連携状況 (P8) を参照願いたい。

## 7 アンケート結果

図表

- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要8項目」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要8項目」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要8項目」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移（2014年～2018年）
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2014年～2018年）

数表

資料1—1	2018年度	学校評価	教員対象アンケート	—組織—
資料1—2	2018年度	学校評価	教員対象アンケート	—個人—
資料1—3	2018年度	学校評価	教員対象アンケート	—「組織」の過去4ヵ年比較—
資料1—4	2018年度	学校評価	教員対象アンケート	—「個人」の過去4ヵ年比較—

- 資料2 ① 2018年度 学校評価 保護者アンケート結果 —高中別—
- 資料2—1 2018年度 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2—2 2018年度 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2 ② 2018年度 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—
- 資料2—3 2018年度 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去3ヵ年比較—
- 資料2—4 2018年度 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去3ヵ年比較—
- 資料3—1 2018年度 授業評価分析資料（高校・中学校別）
- 資料3—2 2018年度 授業評価分析資料（教科別）

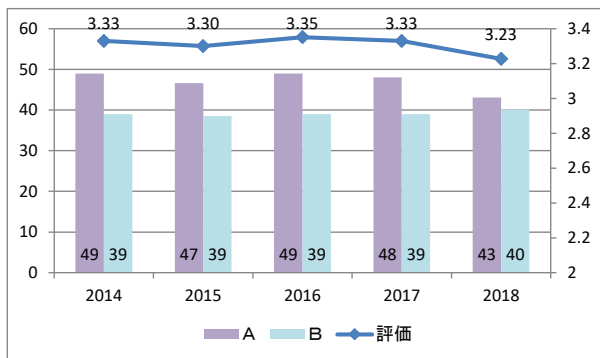
以 上



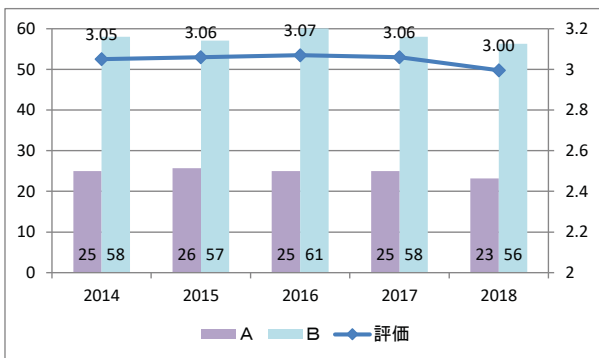
保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2014年～2018年)

【グラフ ①】

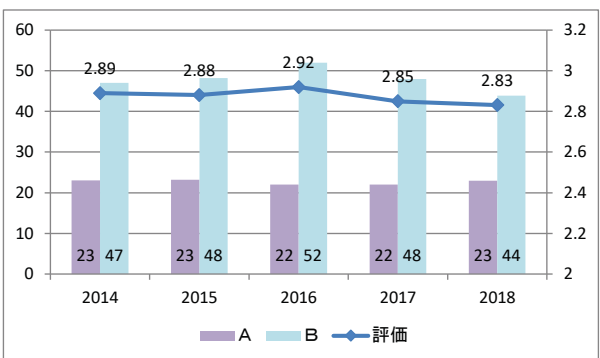
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



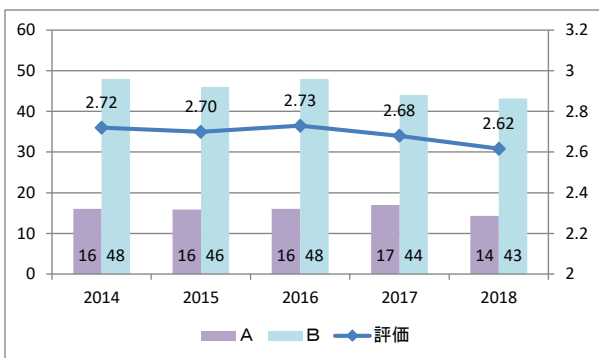
2 本校の教育方針を理解されていますか



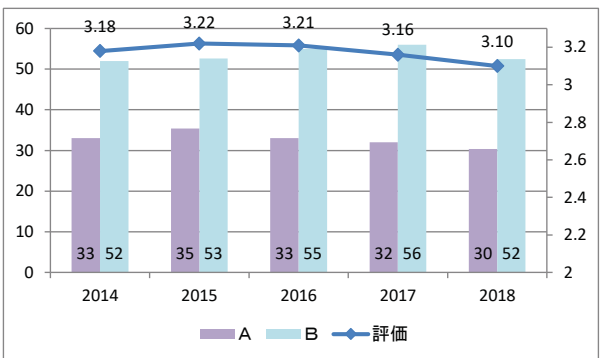
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



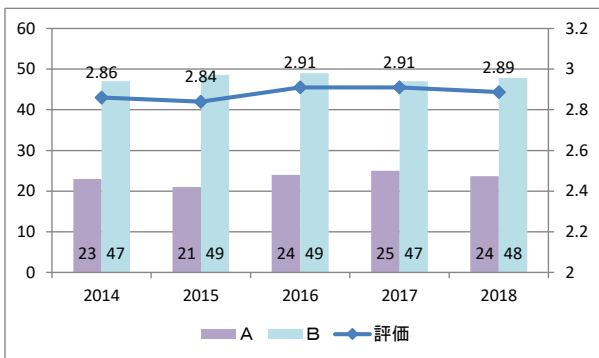
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



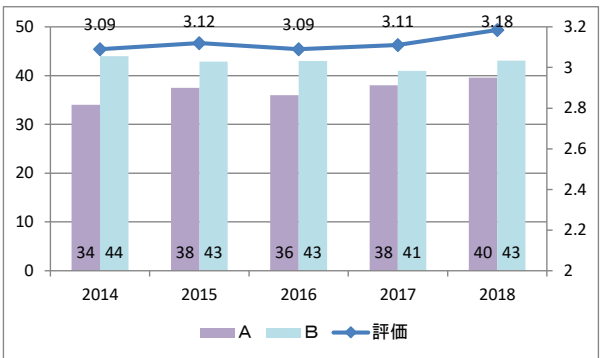
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



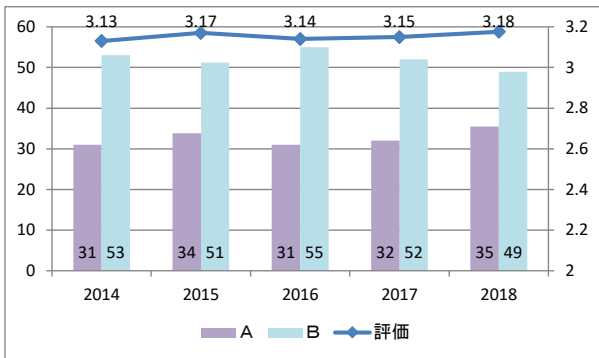
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか

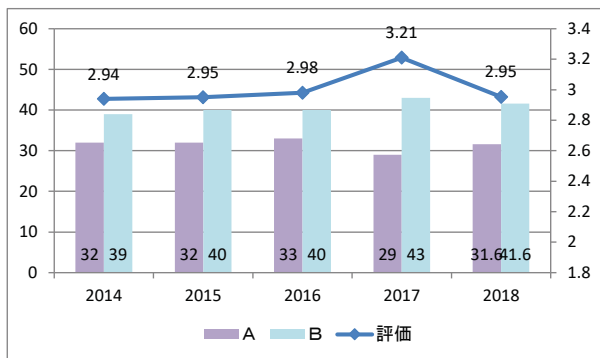


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

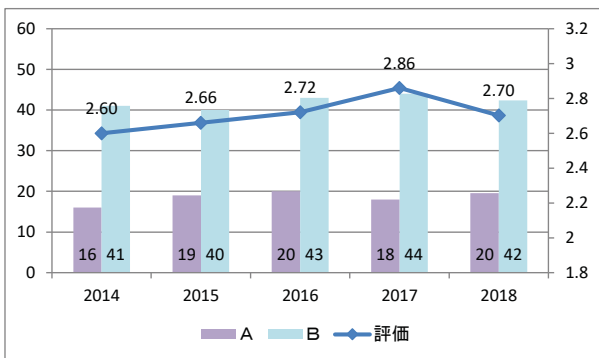
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2014年～2018年）

【グラフ ②】

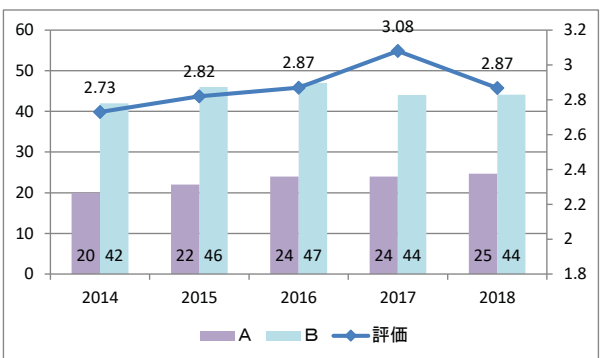
1 この学校に入学して良かったですか



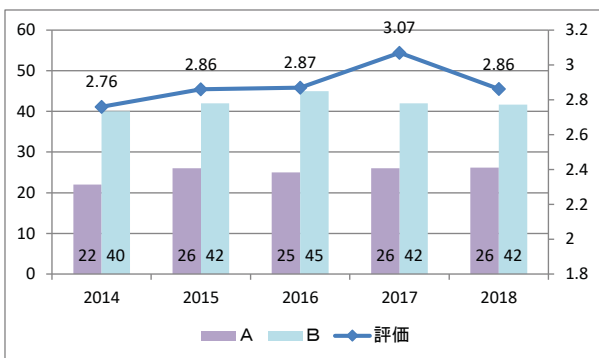
2 学校の教育方針を理解していますか



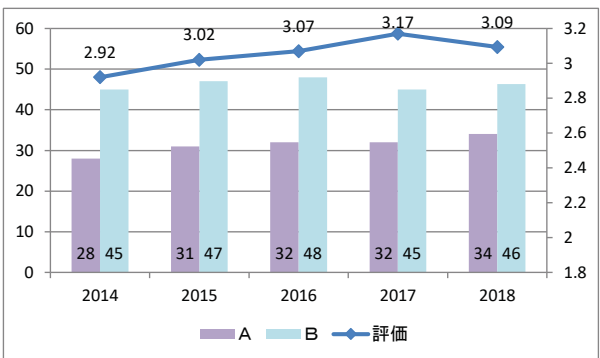
3 自分の学力は向上していると思いますか



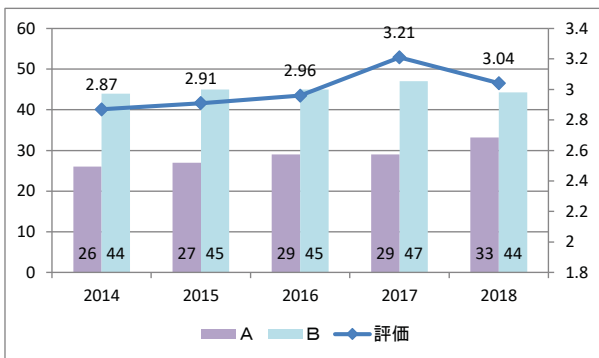
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



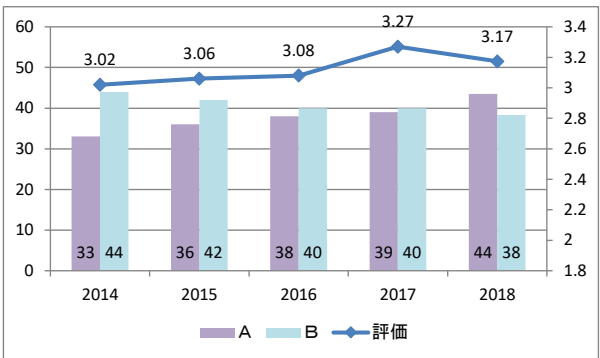
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



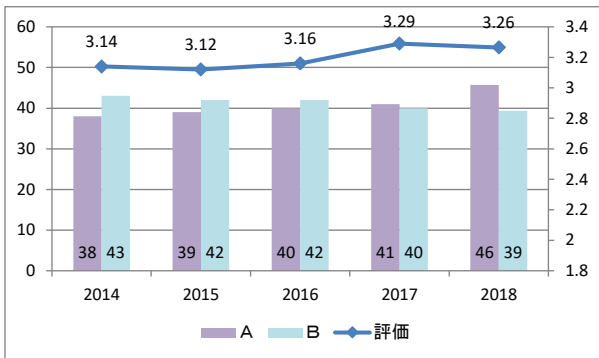
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

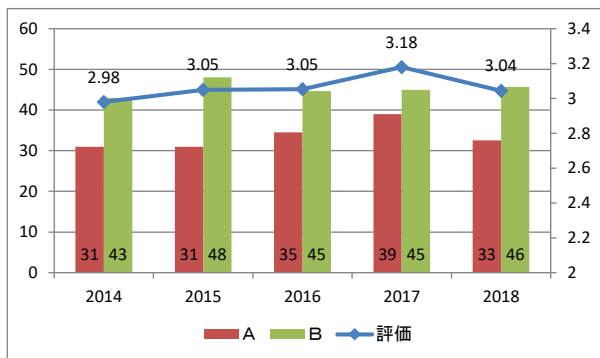


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

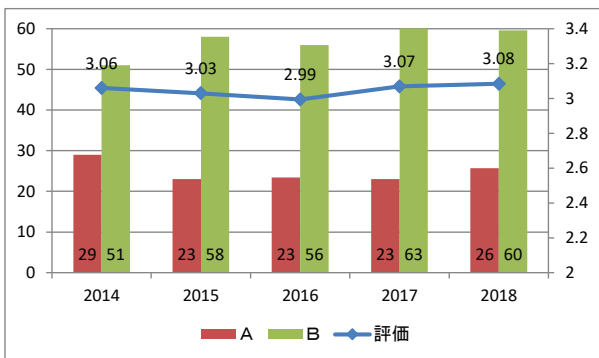
保護者(中学)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2014年～2018年)

【グラフ ③】

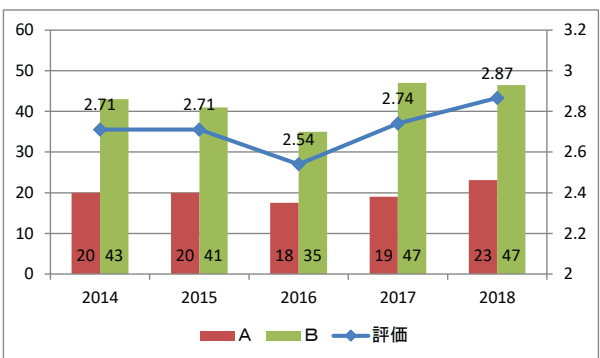
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



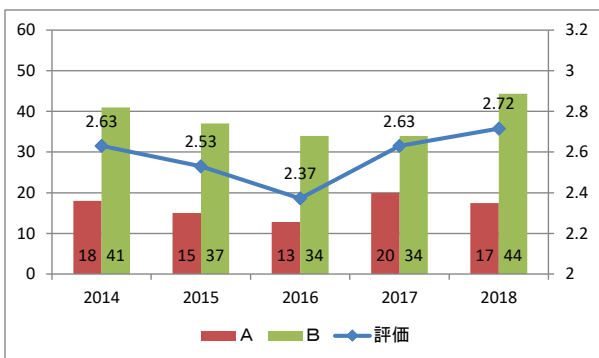
2 本校の教育方針を理解されていますか



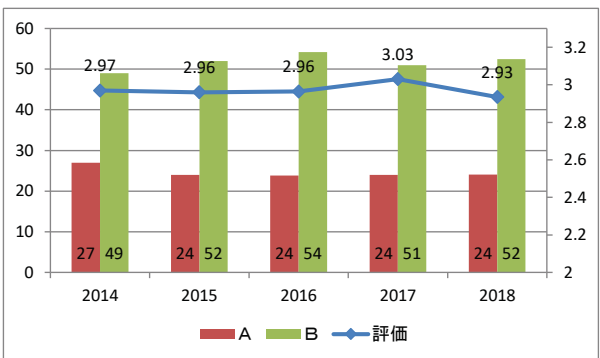
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



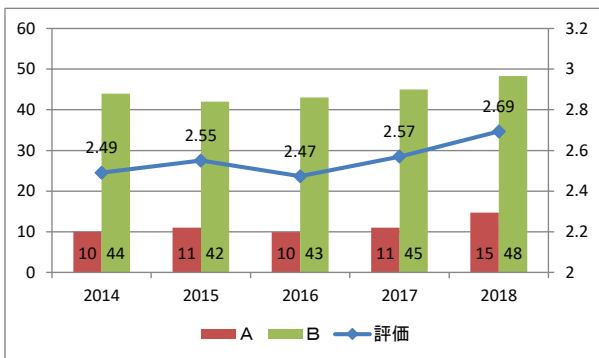
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



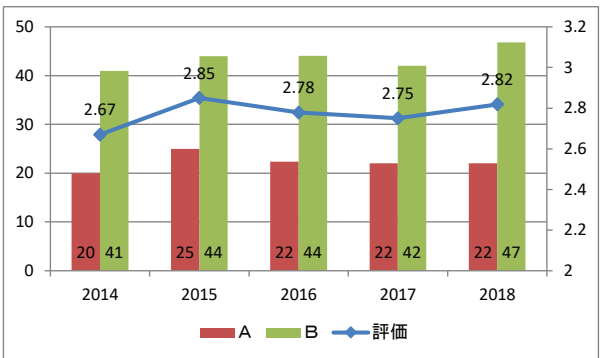
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



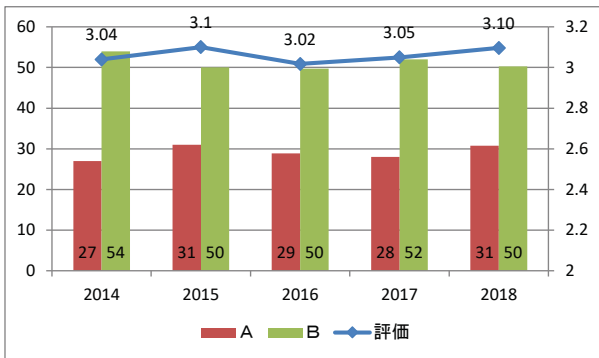
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか

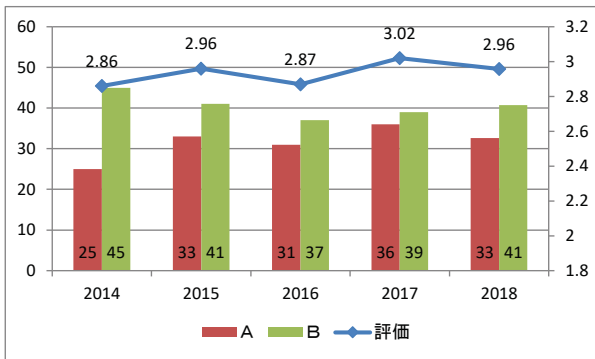


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

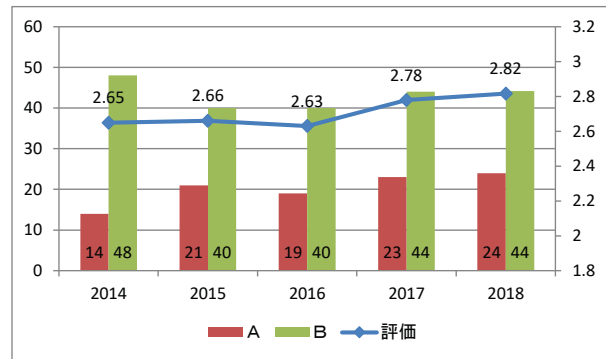
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2014年～2018年）

【グラフ④】

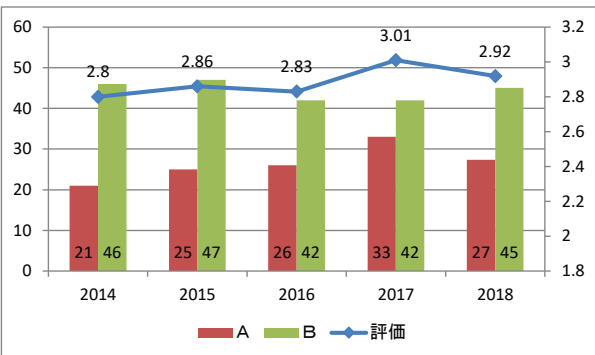
1 この学校に入学して良かったですか



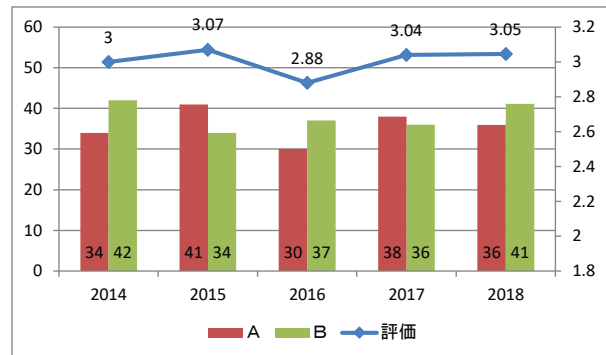
2 学校の教育方針を理解していますか



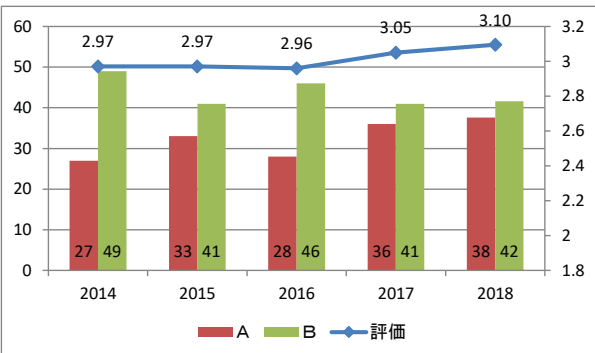
3 自分の学力は向上していると思いますか



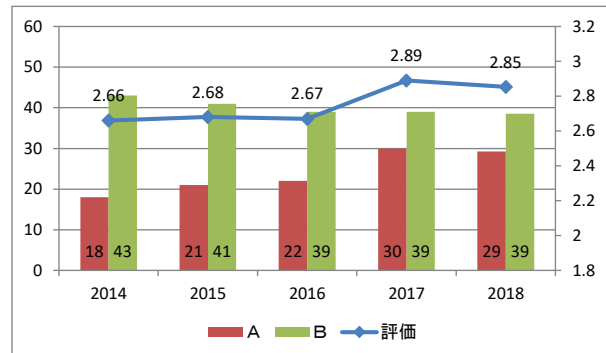
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



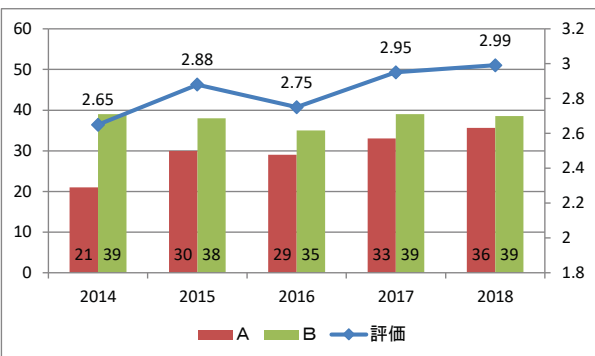
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



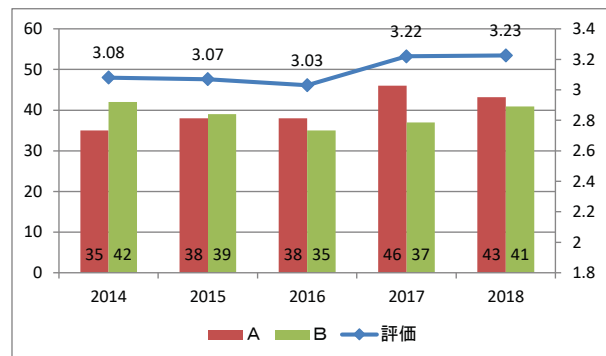
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

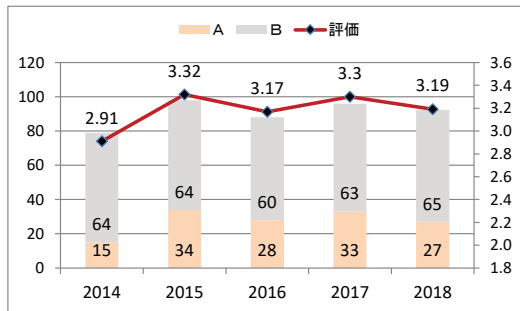


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA, Bの割合(%)を示す。

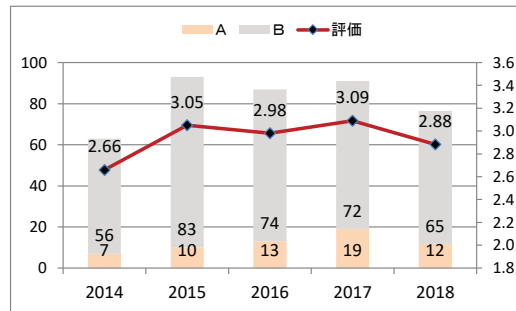
「学校生活の満足度」の推移（2014年～2018年）

【グラフ ⑤】

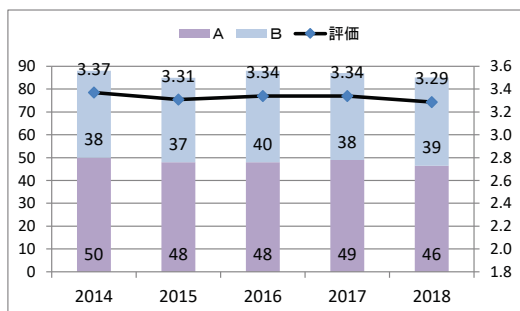
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



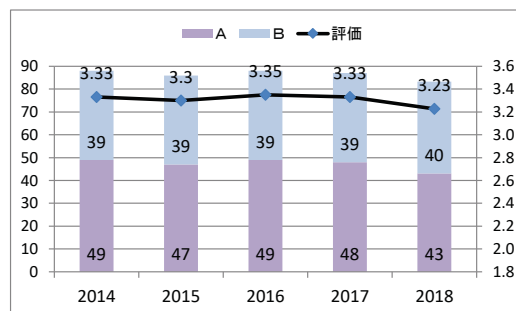
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



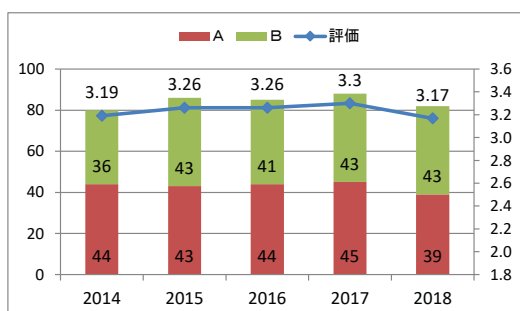
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



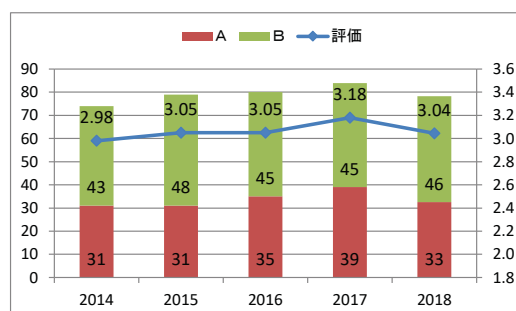
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



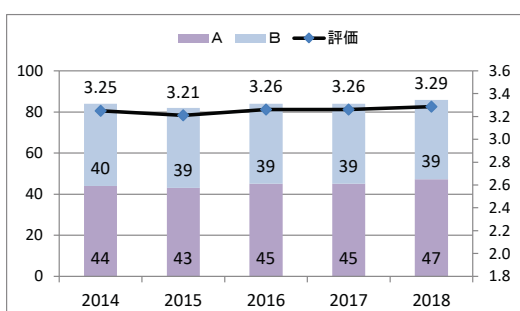
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



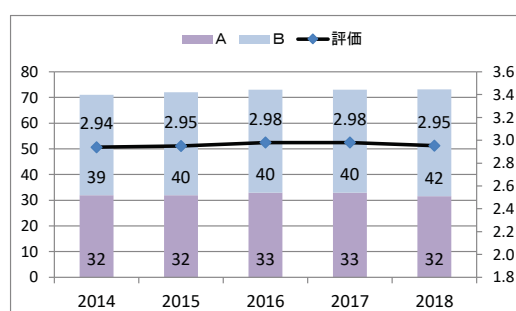
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



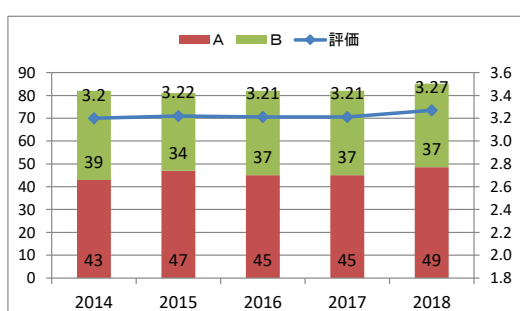
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



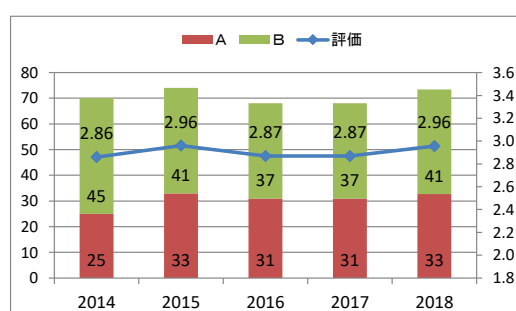
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



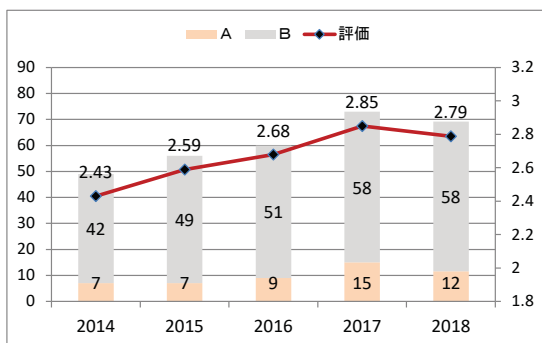
10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



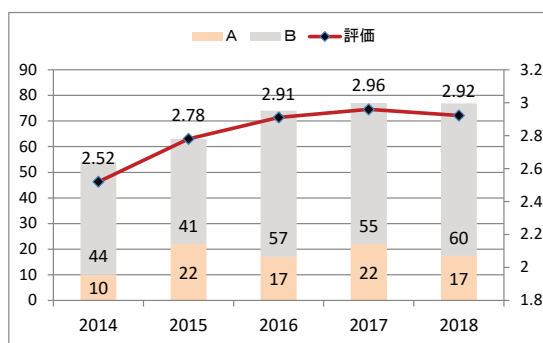
「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移（2014年～2018年）

【グラフ⑥】

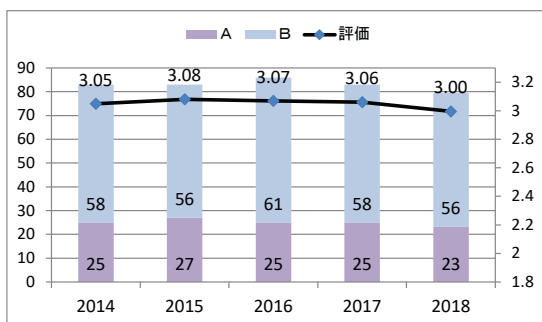
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。（教員組織）



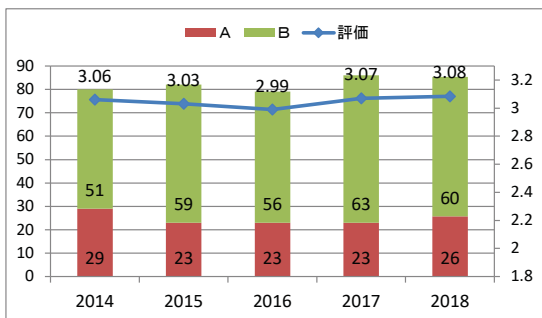
2. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。（教員組織）



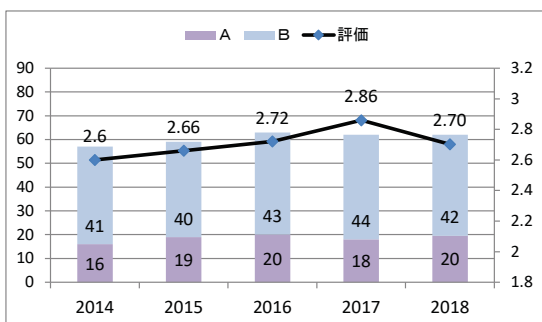
3. 本校の教育方針を理解していますか。（高校保護者対象）



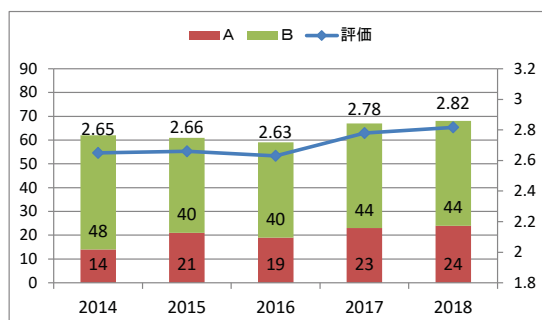
4. 本校の教育方針を理解していますか。（中学校保護者対象）



5. 本校の教育方針を理解していますか。（高校生対象）

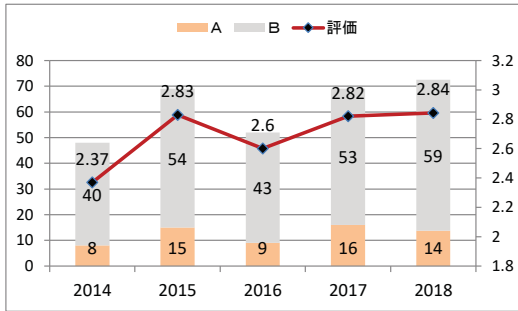


6. 本校の教育方針を理解していますか。（中学生対象）

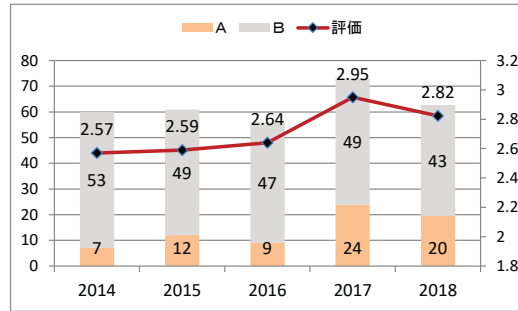


「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2014年～2018年 【グラフ ⑦】）

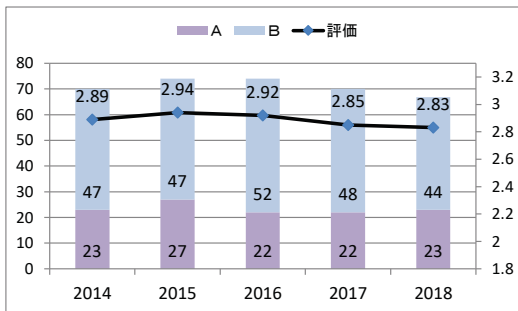
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



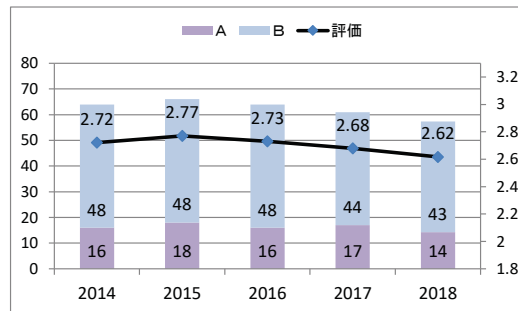
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



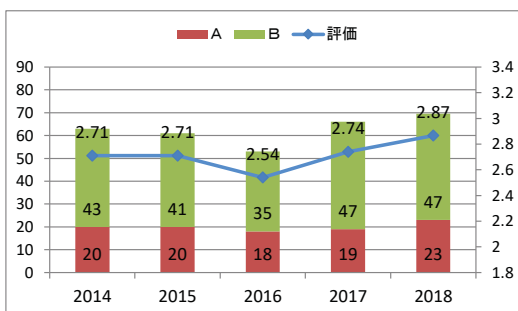
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



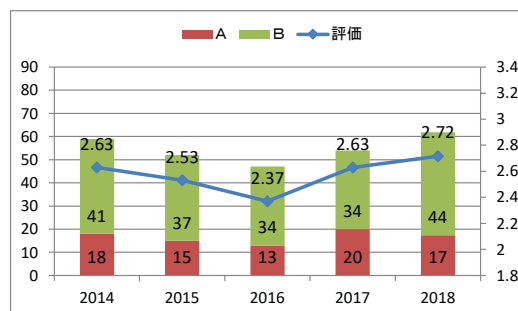
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



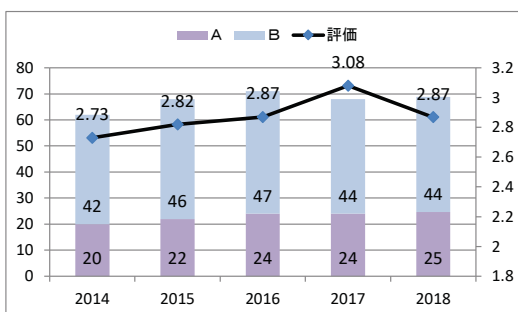
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



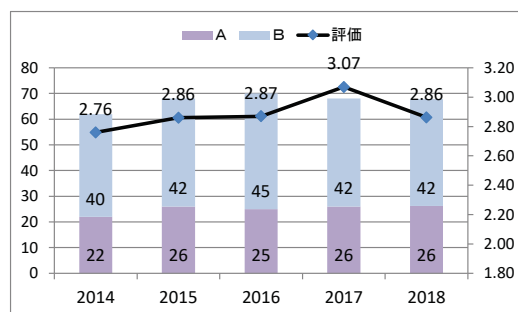
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



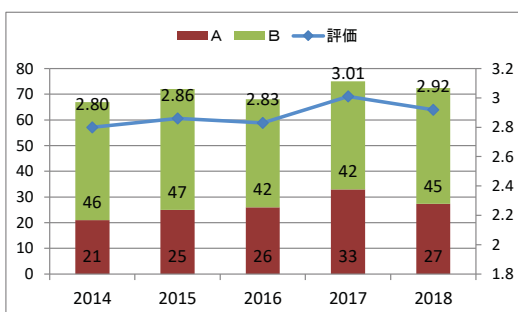
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



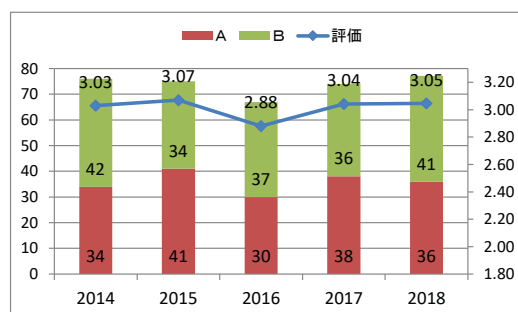
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)

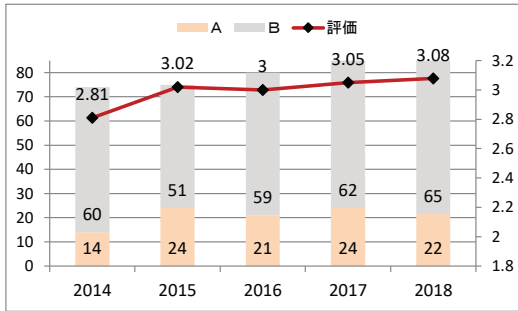


10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)

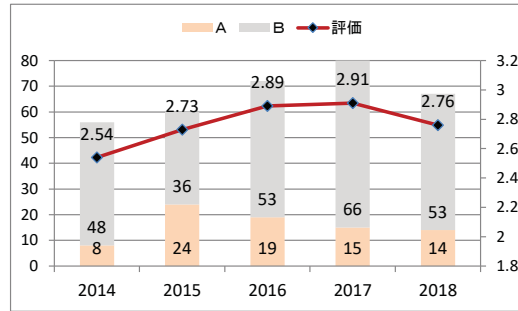


「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2014年～2018年) 【グラフ ⑧】

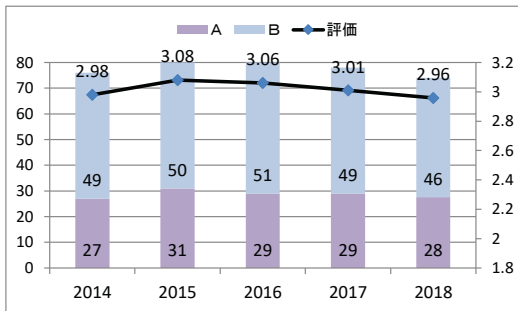
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



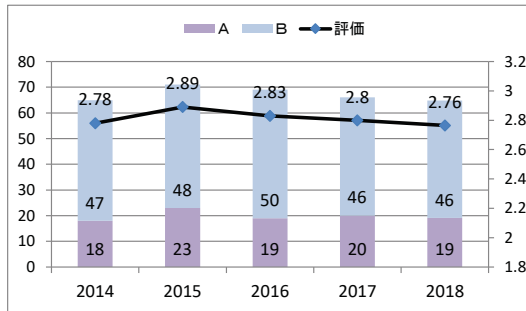
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



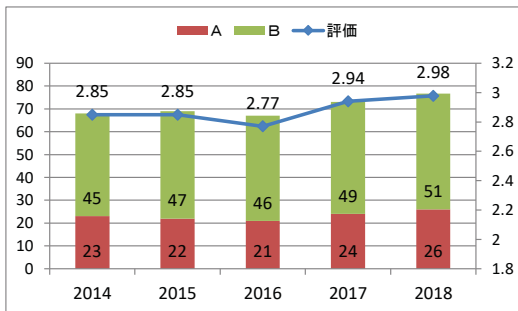
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



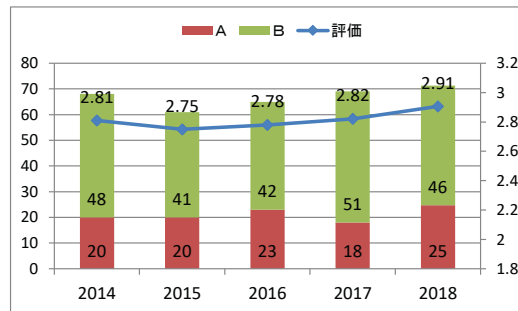
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



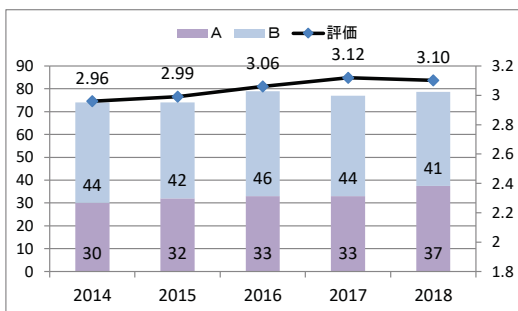
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



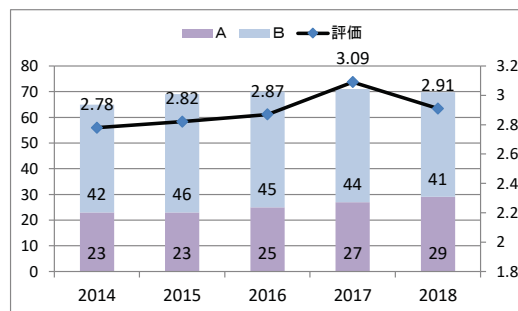
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



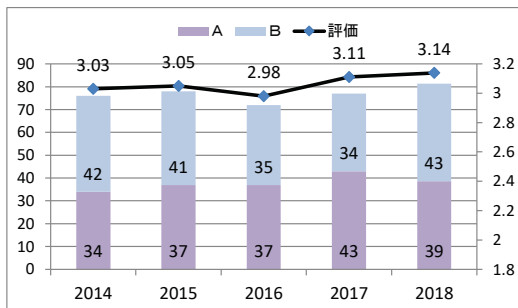
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



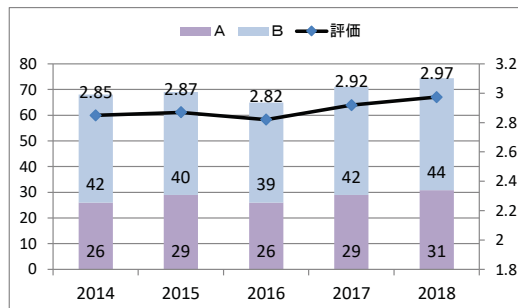
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)



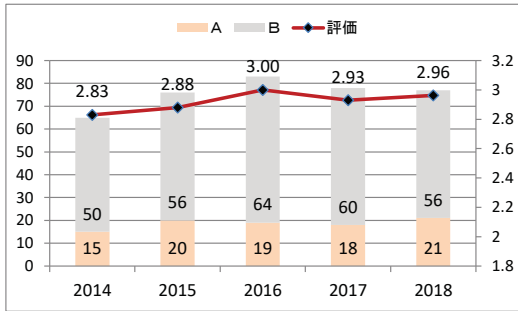
10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)



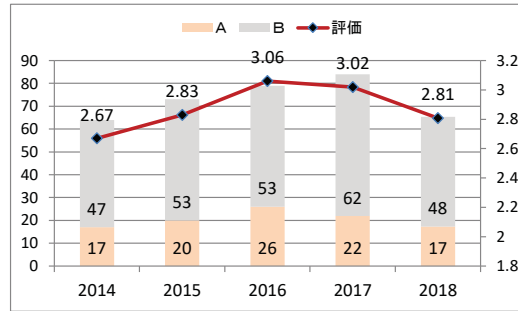


「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2014年～2018年） 【グラフ ⑨】

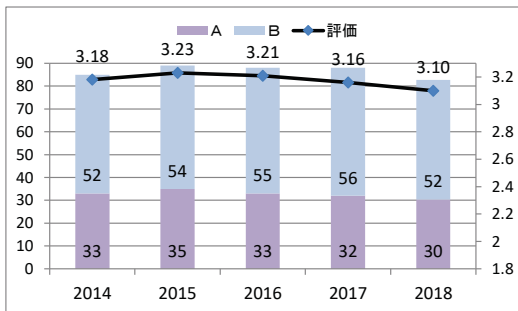
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



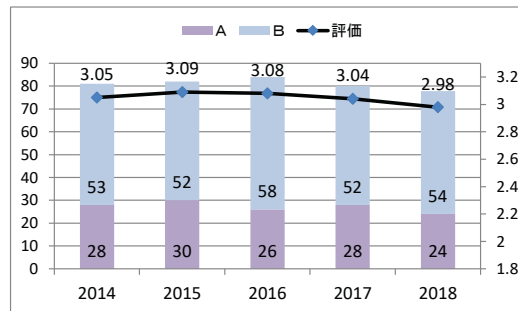
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



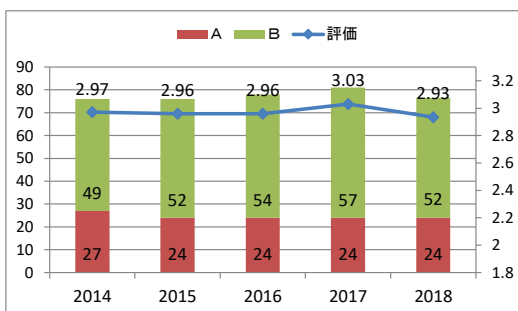
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



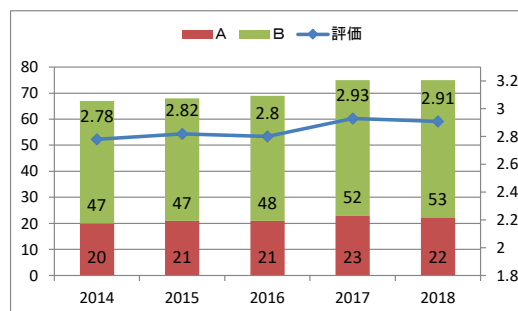
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



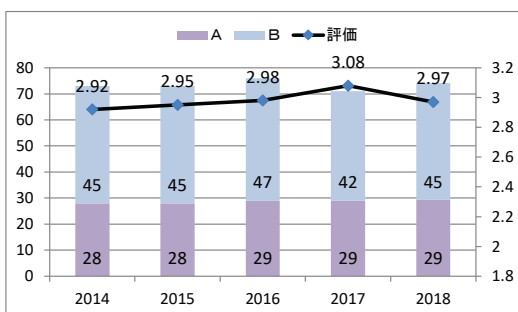
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



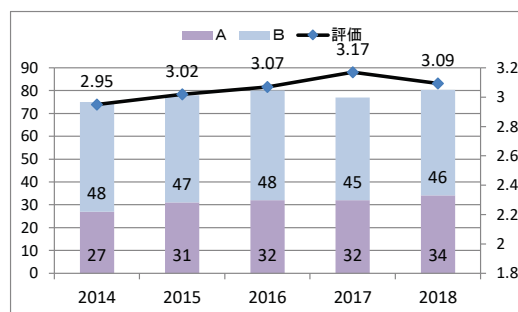
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



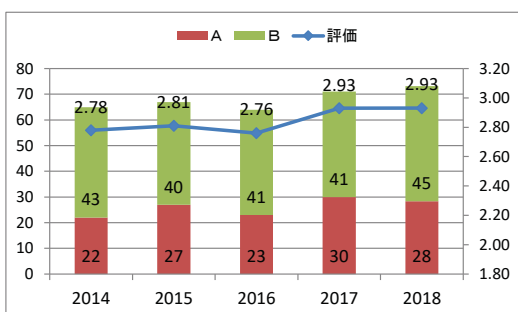
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



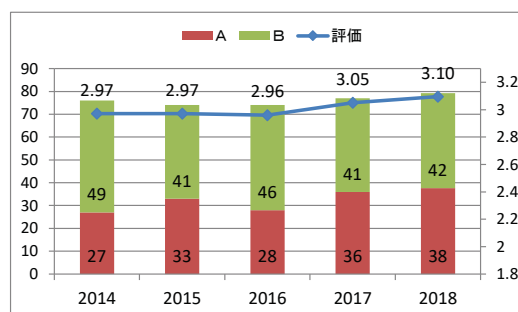
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



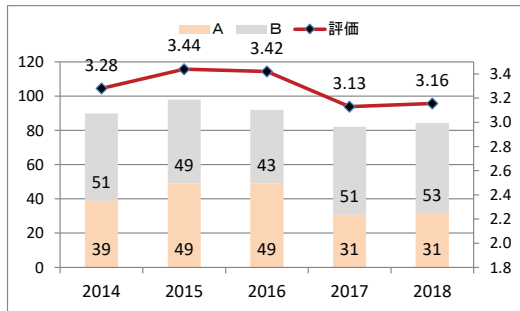
10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



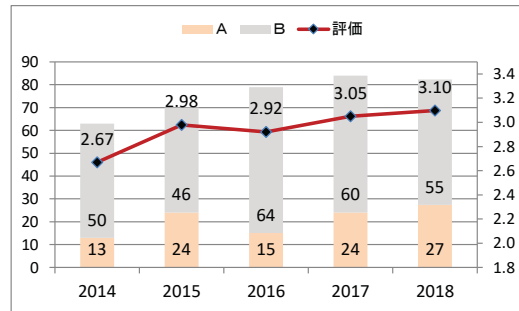
「進路指導体制」の推移（2014年～2018年）

【グラフ ⑩】

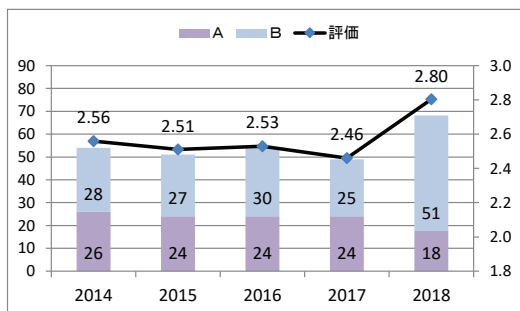
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている（教員組織）



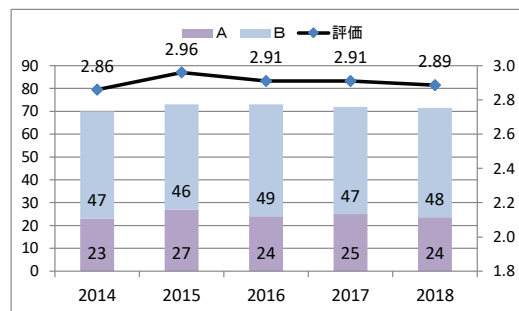
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である（教員組織）



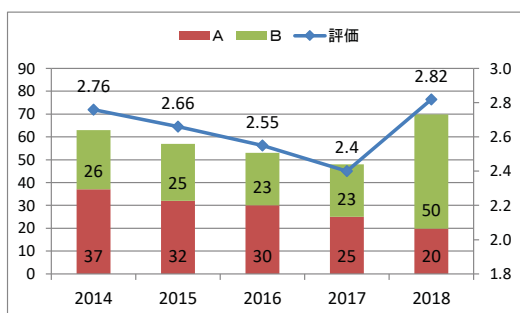
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校保護者対象）



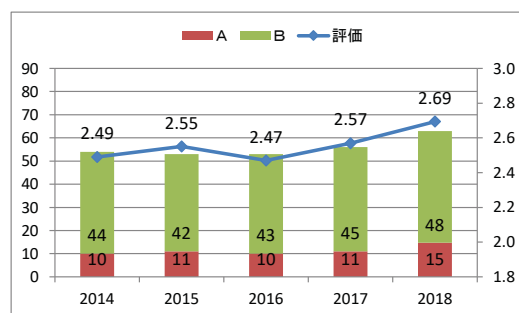
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校保護者対象）



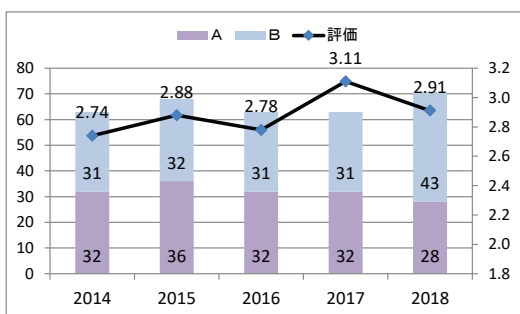
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学校保護者対象）



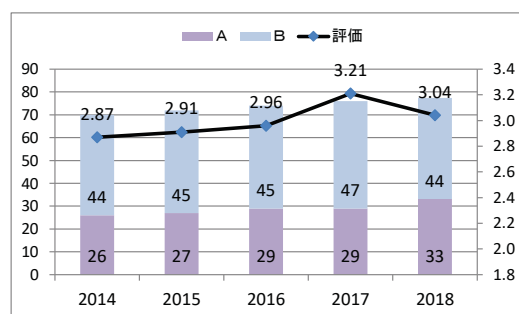
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学校保護者対象）



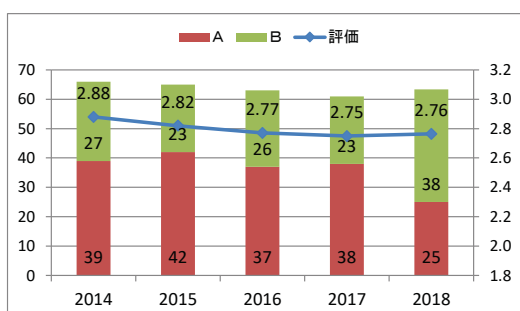
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校生対象）



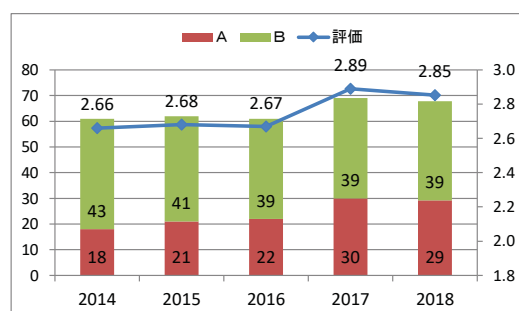
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校生対象）



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学生対象）



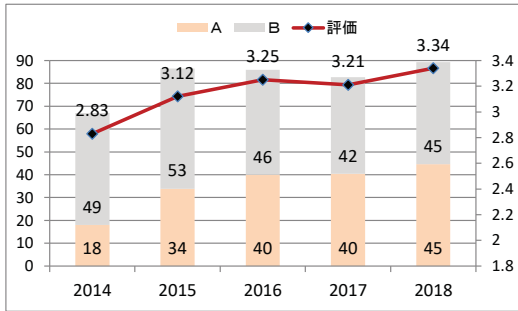
10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学生対象）



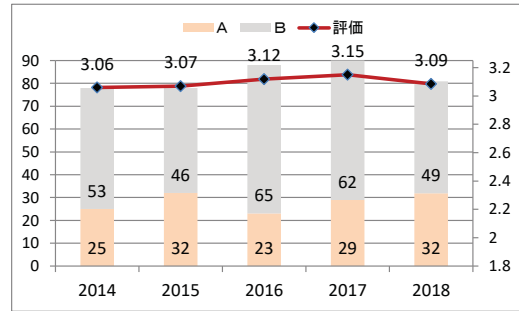
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2014年～2018年）

【グラフ ①】

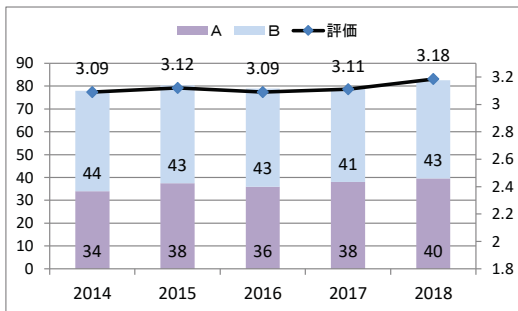
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



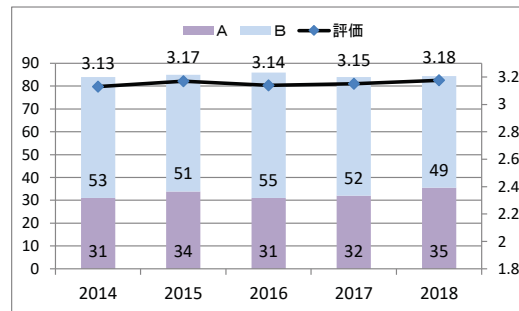
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



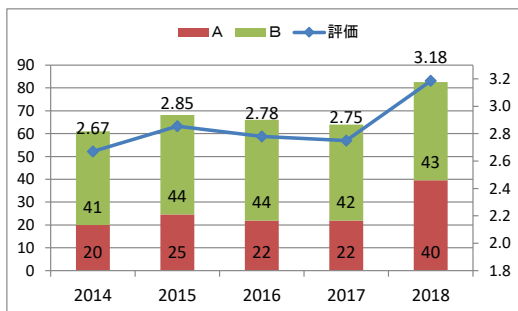
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



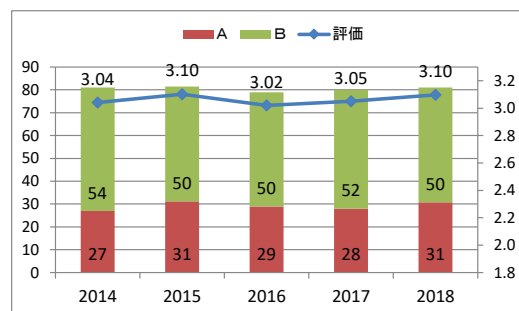
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



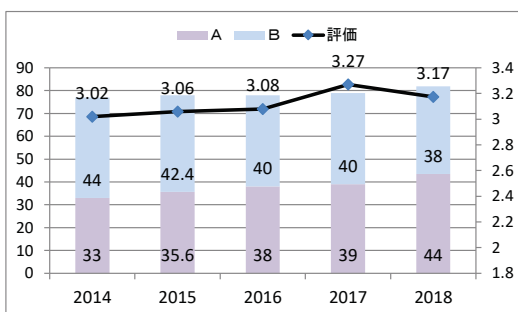
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



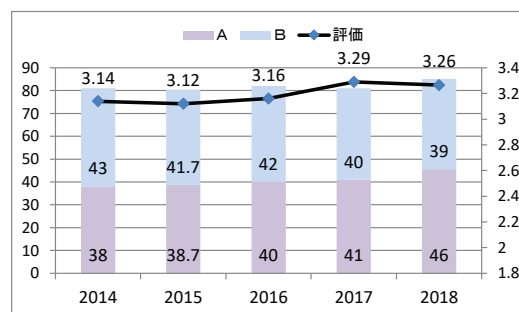
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



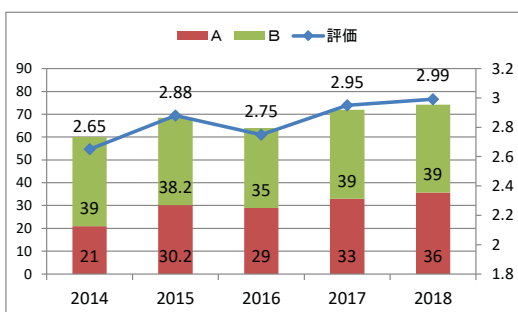
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



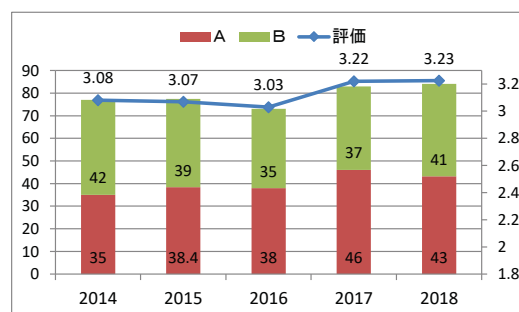
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



2018年度 学校評価 自己点検・評価項目 一組 織 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-1】

分類	大項目	No.	小項目	設 問	30項目	評価	A	B	C	D	
学校全般		○ 1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。		3.19	26.9	65.4	7.7	0.0	
		○ 2		本校に入学者は保護者の満足度は高い。		2.88	11.8	64.7	23.5	0.0	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づいた教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。		2.79	11.5	57.7	28.8	1.9	
		4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。		2.92	17.3	59.6	21.2	1.9	
	教職員間連携	5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員、教職員同士の間に信頼関係を築く努力がなされている。		2.79	19.2	44.2	32.7	3.8	
		6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。		2.98	23.1	53.8	21.2	1.9	
	情報公開	○ 7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教員会議などが効率よく機能的に運営されている。		2.83	21.2	48.1	23.1	7.7	
		8	ハラスメントに関する研修	安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対しての注意喚起および定期的な研修が行われている。		2.71	9.8	54.9	31.4	3.9	
	地域との連携	9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。		2.63	7.8	56.9	25.5	9.8	
		10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。		2.61	15.7	41.2	31.4	11.8	
	教育内容	知育	○ 11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。		3.23	38.5	50.0	7.7	3.8
			12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。		2.53	11.8	39.2	39.2	9.8
徳育		○ 13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。		2.84	13.7	58.8	25.5	2.0	
		○ 14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。		2.82	19.6	43.1	37.3	0.0	
体育		○ 15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。		3.08	21.6	64.7	13.7	0.0	
		○ 16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。		2.96	21.2	55.8	21.2	1.9	
人権教育		○ 17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を迅速さなようして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。		3.02	19.2	65.4	13.5	1.9	
		○ 18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。		3.18	37.3	47.1	11.8	3.9	
学校間連携		○ 19	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。		3.18	27.5	62.7	9.8	0.0	
		○ 20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。		3.00	25.5	51.0	21.6	2.0	
生徒支援	生徒指導	○ 21	中高大連携事業の実践	中高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。		3.06	41.2	29.4	23.5	5.9	
		22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。		2.81	17.3	48.1	32.7	1.9	
	カウンセリング	23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。		2.76	13.7	52.9	29.4	3.9	
		○ 24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。		3.16	31.4	52.9	15.7	0.0	
	生徒会活動	25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。		3.10	27.5	54.9	17.6	0.0	
		26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。		3.34	44.7	44.7	10.6	0.0	
		27	学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。		3.09	31.9	48.9	14.9	4.3	
教員研修	○ 28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。		2.79	19.1	46.8	27.7	6.4		
	29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。		2.60	6.4	59.6	21.3	12.8		
その他	国際化	30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。		2.46	13.0	32.6	41.3	13.0	

注: ○は併設校共通項目 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2018年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人一人 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.	設 問	25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	2.96	17.6	64.7	13.7	3.9
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.31	39.2	52.9	7.8	0.0
	教職員間連携	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.22	39.2	43.1	17.6	0.0
		4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.08	25.5	58.8	13.7	2.0
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教員会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.18	31.4	54.9	13.7	0.0
教育内容	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対する的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.14	27.5	62.7	5.9	3.9
		7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.33	41.2	51.0	7.8	0.0
	知 育	8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.16	32.0	56.0	8.0	4.0
		9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.08	27.5	54.9	15.7	2.0
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.27	37.3	52.9	9.8	0.0
		11	模試や入試問題の活用	模試試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	3.08	29.4	52.9	13.7	3.9
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.63	15.7	37.3	41.2	5.9
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	2.94	25.5	47.1	23.5	3.9
徳 育	14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.82	17.6	51.0	27.5	3.9	
	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.29	45.1	39.2	15.7	0.0	
生徒指導	体 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0
		17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互恵関係を築く努力をしている。	3.14	33.3	49.0	15.7	2.0
	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対する理解を深め、積極的に協力をしている。	3.10	33.3	47.1	15.7	3.9	
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.27	33.3	62.7	2.0	2.0
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0
		22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援を行っている。	3.25	43.1	41.2	13.7	2.0
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.33	41.2	52.9	3.9	2.0
教員の資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.90	27.5	37.3	33.3	2.0
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.71	17.6	41.2	35.3	5.9

注：○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4): そう思う B(3): どちらかといえば思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

学校評価(教員対象) —「組織面の自己評価」の年次比較(過去4カ年)— 【資料1-3】

分類	大項目	小項目	教員 組織面の自己評価																							
			2015年度				2016年度				2017年度				2018年度											
			NO.	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D								
学校 全校		学園生活	○ 1	3.32	33.9	64.4	1.7	0.0	3.17	28.3	60.4	11.3	0.0	3.00	33.3	63.0	3.7	0.0	3.19	26.9	65.4	7.7	0.0			
		私学の独自性	教育方針・教育目標	○ 2	3.05	10.2	83.1	6.8	0.0	2.98	13.2	73.6	11.3	1.9	3.09	18.5	72.2	9.3	0.0	2.88	11.8	64.7	23.5	0.0		
			合併の精神・併設校としての使命	○ 3	2.59	6.8	49.2	42.4	1.7	2.68	9.4	50.9	37.7	1.9	2.85	14.5	58.2	25.5	1.8	2.79	11.5	57.7	28.8	1.9		
			学習指導要領と年間指導計画	○ 4	2.78	22.0	40.7	33.9	3.4	2.91	17.0	56.6	26.4	0.0	2.96	21.8	54.5	21.8	1.8	2.92	17.3	59.6	21.2	1.9		
学校 運営		管理職と教員、教職員同士の連携	5	2.59	16.9	44.1	30.5	8.5	2.60	15.1	43.4	28.3	13.2	2.60	12.7	41.8	38.2	7.3	2.79	19.2	44.2	32.7	3.8			
		ミドルマネジメントの組織運営	6	2.76	22.0	49.2	23.7	5.1	2.85	18.9	52.8	22.6	5.7	2.91	14.5	61.8	23.6	0.0	2.98	23.1	53.8	21.2	1.9			
		会議の有効性	○ 7	2.73	20.3	44.1	32.2	3.4	3.00	22.6	58.5	15.1	3.8	3.02	21.8	58.2	20.0	0.0	2.83	21.2	48.1	23.1	7.7			
		ハラスメントに関する研修	8	2.83	33.9	27.1	37.3	1.7	2.70	17.0	41.5	35.8	5.7	2.51	7.3	43.6	41.8	7.3	2.71	9.8	54.9	31.4	3.9			
		ホームページの活用	○ 9	2.85	18.6	52.5	18.6	10.2	2.64	11.3	43.4	43.4	1.9	2.95	25.5	49.1	20.0	5.5	2.63	7.8	56.9	25.5	9.8			
		初動対応	10	2.93	28.8	45.8	22.0	3.4	2.87	18.9	52.8	24.5	3.8	3.04	25.5	58.2	10.9	5.5	2.61	15.7	41.2	31.4	11.8			
		避難訓練や安全対策	○ 11	3.20	40.7	44.1	15.3	0.0	3.26	43.4	41.5	13.2	1.9	3.33	49.1	36.4	12.7	1.8	3.23	38.5	50.0	7.7	3.8			
		地域との連携	12	2.66	18.6	45.8	30.5	5.1	2.66	17.0	39.6	35.8	7.5	2.64	18.2	32.7	43.6	5.5	2.53	11.8	39.2	39.2	9.8			
		分掌における役割																								
		学年における役割																								
		教育 内容		基礎学力の習得																						
				学向上における組織的な取組	○ 13	2.83	15.3	54.2	30.5	0.0	2.60	9.4	43.4	45.3	1.9	2.82	16.4	52.7	27.3	3.6	2.84	13.7	58.8	25.5	2.0	
模試や入試問題の活用																										
スローラーナーへの対応	○ 14			2.59	11.9	49.2	35.6	3.4	2.64	9.4	47.2	41.5	1.9	2.95	23.6	49.1	25.5	1.8	2.82	19.6	43.1	37.3	0.0			
授業評価の活用																										
保護者との連携	○ 15			3.02	23.7	50.8	25.4	0.0	3.00	20.8	58.5	20.8	0.0	3.05	23.6	61.8	10.9	3.6	3.08	21.6	64.7	13.7	0.0			
社会規範の理解とモラルの醸成	○ 16			2.88	20.3	55.9	22.0	1.7	3.00	18.9	64.2	15.1	1.9	2.93	18.2	60.0	18.2	3.6	2.96	21.2	55.8	21.2	1.9			
いじめへの対応	17			2.98	25.4	52.5	22.0	0.0	2.89	13.2	64.2	20.8	1.9	3.13	27.3	61.8	7.3	3.6	3.02	19.2	65.4	13.5	1.9			
ボランティア活動の推進	18			3.00	28.8	45.8	25.4	0.0	3.04	32.1	45.3	17.0	5.7	2.98	27.3	50.9	14.5	7.3	3.18	37.3	47.1	11.8	3.9			
健康な身体づくり	○ 19			3.12	35.6	47.5	15.3	1.7	3.09	32.1	45.3	22.6	0.0	3.20	38.2	45.5	14.5	1.8	3.18	27.5	62.7	9.8	0.0			
人権に対する指導体制	20			2.78	20.3	49.2	28.8	1.7	2.94	24.5	47.2	26.4	1.9	3.02	29.1	45.5	23.6	1.8	3.00	25.5	51.0	21.6	2.0			
中高大連携事業の実践	○ 21			2.95	30.5	45.8	20.3	3.4	3.19	35.8	49.1	13.2	1.9	3.29	45.5	40.0	12.7	1.8	3.06	41.2	29.4	23.5	5.9			
指導方針の一貫性	22	2.83	20.3	52.5	25.4	1.7	3.06	26.4	52.8	20.8	0.0	3.02	21.8	61.8	12.7	3.6	2.81	17.3	48.1	32.7	1.9					
生徒指導 支援		家庭との連携状況																								
		組織的な指導体制																								
		カウンセリング体制	○ 24	3.44	49.2	49.2	1.7	0.0	3.42	49.1	43.4	7.5	0.0	3.13	30.9	50.9	18.2	0.0	3.16	31.4	52.9	15.7	0.0			
		進路指導体制	25	2.98	23.7	45.8	28.8	1.7	2.92	15.1	64.2	18.9	1.9	3.05	23.6	60.0	14.5	1.8	3.10	27.5	54.9	17.6	0.0			
		部活動支援状況	26	3.12	33.9	52.5	11.9	1.7	3.25	40.4	46.2	11.5	1.9	3.21	40.4	42.3	15.4	1.9	3.34	44.7	44.7	10.6	0.0			
		生徒会活動	27	3.07	32.2	45.8	20.3	1.7	3.12	23.1	65.4	11.5	0.0	3.15	28.8	61.5	5.8	3.8	3.09	31.9	48.9	14.9	4.3			
		校内外における教員研修	○ 28	2.71	22.0	45.8	28.8	3.4	2.88	17.3	55.8	25.0	1.9	2.87	23.1	44.2	28.8	3.8	2.79	19.1	46.8	27.7	6.4			
		教員相互の資質向上体制	29	2.66	16.9	42.4	35.6	5.1	2.65	15.4	40.4	38.5	5.8	2.62	15.4	40.4	34.6	9.6	2.60	6.4	59.6	21.3	12.8			
		国際理解	30	2.46	11.9	40.7	33.9	13.6	2.63	9.6	50.0	34.6	5.8	2.45	13.7	37.3	29.4	19.6	2.46	13.0	32.6	41.3	13.0			
		その他																								

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4)

評価基準について A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

学校評価(教員対象) —「個人面の自己評価」の年次比較(過去4年)— 【資料1-4】

分類 学校 全校	大項目	小項目	教員 個人面の自己評価																				
			2015年度				2016年度				2017年度				2018年度								
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D						
私学の独自性	学園生活	教育方針・教育目標	3.05	22.8	59.6	17.5	0.0	2.87	17.0	56.6	22.6	3.8	3.04	22.6	58.5	18.9	0.0	2.96	17.6	64.7	13.7	3.9	
		合併の精神・併設校としての使命	3.32	42.1	47.4	10.5	0.0	3.36	43.4	49.1	7.5	0.0	3.28	43.4	43.4	11.3	1.9	3.31	39.2	52.9	7.8	0.0	
		学習指導要領と年間指導計画	3.35	47.4	40.4	12.3	0.0	3.23	37.7	49.1	11.3	1.9	3.47	58.5	30.2	11.3	0.0	3.22	39.2	43.1	17.6	0.0	
		教員間連携	3.19	38.6	43.9	15.8	1.8	3.08	32.1	45.3	20.8	1.9	3.06	26.4	54.7	17.0	1.9	3.08	25.5	58.8	13.7	2.0	
		管理職と教員との連携	3.11	26.3	59.6	12.3	1.8	3.02	26.4	52.8	17.0	3.8	3.19	32.1	54.7	13.2	0.0	3.18	31.4	54.9	13.7	0.0	
学校運営	情報公開	ハラスメントに関する研修																					
		ホームページの活用																					
		初動対応	3.09	29.8	49.1	21.1	0.0	3.04	30.2	47.2	18.9	3.8	3.30	45.3	41.5	11.3	1.9	3.14	27.5	62.7	5.9	3.9	
		避難訓練や安全対策																					
		地域との連携																					
教育内容	分掌と学年	分掌における役割	3.37	43.9	49.1	7.0	0.0	3.25	43.4	41.5	11.3	3.8	3.36	43.4	50.9	3.8	1.9	3.33	41.2	51.0	7.8	0.0	
		学年における役割	3.25	35.7	53.6	10.7	0.0	3.06	21.6	62.7	15.7	0.0	3.24	40.0	44.0	16.0	0.0	3.16	32.0	56.0	8.0	4.0	
		基礎学力の習得	3.11	28.1	54.4	17.5	0.0	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	3.17	37.7	45.3	13.2	3.8	3.08	27.5	54.9	15.7	2.0	
		学向上における組織的な取組	3.25	35.1	56.1	7.0	1.8	3.00	20.8	58.5	20.8	0.0	3.17	37.7	43.4	17.0	1.9	3.27	37.3	52.9	9.8	0.0	
		模試や入試問題の活用	3.09	36.8	42.1	14.0	7.0	2.91	26.4	43.4	24.5	5.7	3.04	35.8	35.8	24.5	3.8	3.08	29.4	52.9	13.7	3.9	
	知	スローラーナーへの対応	2.86	22.8	43.9	29.8	3.5	2.49	7.5	39.6	47.2	5.7	2.75	15.1	50.9	28.3	5.7	2.63	15.7	37.3	41.2	5.9	
		授業評価の活用	3.05	29.8	49.1	17.5	3.5	2.94	26.4	45.3	24.5	3.8	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	2.94	25.5	47.1	23.5	3.9	
		保護者との連携	2.88	19.3	50.9	28.1	1.8	2.75	23.1	36.5	32.7	7.7	3.00	28.3	49.1	17.0	5.7	2.82	17.6	51.0	27.5	3.9	
		社会規範の理解とモラルの醸成	3.30	45.6	38.6	15.8	0.0	3.25	37.7	49.1	13.2	0.0	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0	3.29	45.1	39.2	15.7	0.0	
		いじめへの対応																					
	徳	ボランティア活動の推進	健康な身体づくり	3.18	31.6	54.4	14.0	0.0	3.04	28.3	47.2	24.5	0.0	3.29	40.4	48.1	11.5	0.0	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0
			人権に対する指導体制	3.05	24.6	57.9	15.8	1.8	3.13	37.7	41.5	17.0	3.8	3.19	34.0	52.8	11.3	1.9	3.14	33.3	49.0	15.7	2.0
			中高大連携事業の実践	3.00	22.8	54.4	22.8	0.0	2.94	26.4	47.2	20.8	5.7	3.15	34.0	49.1	15.1	1.9	3.10	33.3	47.1	15.7	3.9
			指導方針の一貫性	3.19	35.1	50.9	12.3	1.8	2.96	17.0	66.0	13.2	3.8	3.15	24.5	67.9	5.7	1.9	3.27	33.3	62.7	2.0	2.0
			家庭との連携状況	3.00	24.6	50.9	24.6	0.0	2.91	26.4	41.5	28.3	3.8	2.92	22.6	50.9	22.6	3.8	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0
生徒指導	組織的な指導体制	カウンセリング体制																					
		カウンセリング体制																					
		進路指導体制	3.07	31.6	45.6	21.1	1.8	3.00	20.8	62.3	13.2	3.8	3.04	32.1	41.5	24.5	1.9	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0	
		部活動支援状況	3.09	33.3	47.4	14.0	5.3	3.00	38.5	32.7	25.0	3.8	3.25	37.7	50.9	9.4	1.9	3.25	43.1	41.2	13.7	2.0	
		生徒会活動	3.30	40.4	50.9	7.0	1.8	3.11	34.0	47.2	15.1	3.8	3.21	35.8	50.9	11.3	1.9	3.33	41.2	52.9	3.9	2.0	
生徒支援	教員の研修活動	校内外における教員研修	2.88	22.8	49.1	21.1	7.0	2.87	28.3	35.8	30.2	5.7	2.94	34.6	32.7	25.0	7.7	2.90	27.5	37.3	33.3	2.0	
		教員相互の資質向上体制	2.81	15.8	52.6	28.1	3.5	2.60	15.1	43.4	28.3	13.2	2.65	14.3	44.9	32.7	8.2	2.71	17.6	41.2	35.3	5.9	
その他	国際化	国際理解	3.11																			3.11	

注： A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえば思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

2018年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート — 高中別 — 【資料2①】

	設 問 (保護者対象) 20項目	高等学校				中学校					
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	3.29	46.5	38.7	12.1	2.7	3.17	39.0	43.0	13.7	4.3
2	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。 保護者として、この学校に入學させて良かったと思われませんか。	3.23	43.1	40.2	13.7	3.0	3.04	32.5	45.7	15.3	6.4
3	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	3.00	23.2	56.3	17.6	2.9	3.08	25.7	59.6	11.9	2.8
4	HPの活用	2.79	20.2	48.8	22.5	8.5	2.93	26.5	45.1	22.6	5.8
5	初動対応	2.70	19.6	44.1	24.8	11.5	2.73	22.4	42.6	21.8	13.2
6	避難訓練や安全対策	2.87	18.3	55.3	21.5	5.0	2.94	23.1	53.4	17.3	6.2
7	学力向上における組織的な取組	2.83	23.0	43.8	26.8	6.4	2.87	23.1	46.5	23.4	7.0
8	スローラーナーへの対応	2.62	14.3	43.1	32.9	9.7	2.72	17.4	44.3	30.3	8.0
9	保護者との連携	2.96	27.6	46.4	20.7	5.3	2.98	26.0	50.8	18.7	4.6
10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.10	30.3	52.4	14.1	3.1	2.93	24.1	52.4	16.8	6.7
11	いじめへの対応	3.04	24.4	57.7	15.7	2.3	2.88	21.3	53.0	18.3	7.3
12	健康な身体づくり	3.21	36.3	50.3	11.6	1.7	3.16	32.8	53.1	11.0	3.1
13	中高大連携事業の実践	3.08	31.9	47.7	17.3	3.0	3.09	32.1	48.8	16.0	3.1
14	指導方針の一貫性	2.98	24.0	53.8	18.6	3.6	2.91	22.3	52.7	18.3	6.7
15	家庭との連携状況	2.76	19.1	45.7	28.5	6.7	2.91	24.8	46.5	24.2	4.6
16	カウンセリング体制	2.80	17.5	50.6	26.8	5.1	2.82	19.8	50.0	23.5	6.7
17	進路指導体制	2.89	23.7	47.8	22.3	6.2	2.69	14.7	48.3	29.1	8.0
18	部活動支援状況	3.18	39.6	43.1	13.9	3.5	2.82	22.0	46.8	22.6	8.6
19	学校行事指導体制	3.18	35.5	49.0	13.2	2.3	3.10	30.8	50.3	15.9	3.0
20	教員研修体制	2.87	19.8	51.7	24.1	4.4	2.89	22.8	49.2	22.5	5.5
21	事務室の対応	3.32	44.0	47.0	6.6	2.4	3.34	46.9	44.4	6.2	2.5

評価平均	2.99	2.95
2017年度	2.99	
2016年度	3.03	2.84
2015年度	3.01	2.88
2014年度	2.99	2.88



2018年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) —過去4力年比較— 【資料2-1】

分類	大項目	NO	小項目	高等学校																				
				2015年度					2016年度					2017年度					2018年度					
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.31	48.0	37.4	11.7	2.8	3.34	48.1	40.2	9.7	2.0	3.34	48.6	38.3	11.4	1.7	3.29	46.5	38.7	12.1	2.7	
		○ 2		3.30	46.6	38.5	12.6	2.2	3.35	49.0	39.1	9.9	2.0	3.33	48.4	38.9	10.2	2.5	3.23	43.1	40.2	13.7	3.0	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.06	25.7	57.1	14.9	2.4	3.07	24.6	60.5	13.4	1.6	3.06	25.2	58.3	14.0	2.5	3.00	23.2	56.3	17.6	2.9	
		○ 4		情報公開	2.83	19.8	51.6	20.5	8.1	2.75	15.6	53.2	22.6	8.5	2.81	18.0	53.6	20.0	8.4	2.79	20.2	48.8	22.5	8.5
	危機管理	5	初動対応	2.99	22.5	57.6	16.3	3.6	3.01	23.2	58.5	14.9	3.4	3.01	24.3	57.2	14.0	4.5	2.70	19.6	44.1	24.8	11.5	
		○ 6		避難訓練や安全対策	2.80	16.6	51.5	26.7	5.2	2.91	20.4	54.9	20.1	4.6	2.88	21.1	51.5	22.3	5.1	2.87	18.3	55.3	21.5	5.0
	教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.88	23.2	48.2	22.4	6.2	2.92	22.3	51.7	22.3	3.8	2.85	21.8	48.3	23.0	6.9	2.83	23.0	43.8	26.8	6.4
			○ 8		スローラーナーへの対応	2.70	15.9	46.0	30.6	7.5	2.73	16.1	47.5	29.6	6.9	2.68	16.5	43.8	30.6	9.1	2.62	14.3	43.1	32.9
徳育		○ 9	保護者との連携	3.05	29.6	49.2	18.2	3.0	3.06	29.0	51.4	16.7	2.9	3.01	28.5	48.5	18.6	4.3	2.96	27.6	46.4	20.7	5.3	
		○ 10		社会規範の理解とモラルの醸成	3.22	35.4	52.6	10.9	1.1	3.21	33.4	55.1	10.8	0.7	3.16	31.6	55.6	10.6	2.2	3.10	30.3	52.4	14.1	3.1
体育		○ 11	いじめへの対応	3.08	25.9	58.0	13.9	2.2	3.08	24.4	60.7	13.2	1.7	3.05	24.9	58.7	13.5	2.9	3.04	24.4	57.7	15.7	2.3	
		○ 12		健康な身体づくり	3.25	36.5	52.4	10.5	0.6	3.21	33.6	54.8	10.8	0.8	3.23	36.3	51.8	10.7	1.2	3.21	36.3	50.3	11.6	1.7
生徒指導・生徒支援		学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.14	33.8	48.4	15.8	2.0	3.14	32.8	51.2	13.8	2.2	3.15	33.5	50.6	13.5	2.4	3.08	31.9	47.7	17.3	3.0
			14		指導方針の一貫性	3.06	27.9	52.6	17.1	2.5	3.08	26.4	58.2	13.1	2.3	3.04	27.7	52.4	16.8	3.1	2.98	24.0	53.8	18.6
		進路指導	15	家庭との連携状況	2.88	22.2	47.6	26.1	4.1	2.83	18.6	50.0	28.0	3.4	2.80	20.4	46.0	27.2	6.4	2.76	19.1	45.7	28.5	6.7
			○ 16		カウンセリング体制	2.41	21.6	25.1	28.3	25.1	2.53	23.5	30.1	25.0	21.5	2.46	24.4	24.5	25.7	25.4	2.80	17.5	50.6	26.8
		教員研修	進路指導	17	進路指導体制	2.84	21.0	48.6	24.3	6.1	2.91	23.9	48.9	22.0	5.2	2.91	25.2	46.9	21.5	6.3	2.89	23.7	47.8	22.3
18	部活動支援状況			3.12		37.5	42.9	13.7	5.8	3.09	36.0	42.7	15.6	5.7	3.11	38.2	40.9	15.3	5.6	3.18	39.6	43.1	13.9	3.5
19	学校行事指導体制		3.17	33.8	51.2	13.1	1.9	3.14	30.7	54.8	12.4	2.1	3.15	32.3	52.4	12.9	2.4	3.18	35.5	49.0	13.2	2.3		
その他	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.85	19.7	50.0	25.7	4.5	2.92	20.9	54.4	20.6	4.1	2.84	19.9	50.2	24.2	5.7	2.87	19.8	51.7	24.1	4.4	
		21		事務室の対応	3.30	40.3	50.6	7.7	1.4	3.37	46.9	45.3	6.1	1.7	3.37	46.4	46.1	5.5	2.0	3.32	44.0	47.0	6.6	2.4

注：○は併設校共通項目 3.01 3.03 3.01 2.99

評価基準について A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:そう思わない

2018年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(中学校) —過去4力年比較— 【資料2-2】

分類	大項目	NO	小項目	中学校																			
				2015年度				2016年度				2017年度				2018年度							
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D					
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.26	43.2	42.7	11.1	3.0	3.26	44.4	41.4	10.9	3.3	3.30	44.7	43.2	9.6	2.4	3.17	39.0	43.0	13.7	4.3
		○ 2		3.05	30.8	47.9	16.8	4.5	3.05	34.5	44.6	14.3	6.5	3.18	38.6	44.9	12.6	3.9	3.04	32.5	45.7	15.3	6.4
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.03	22.8	58.5	17.2	1.5	2.99	23.4	55.5	19.0	2.1	3.07	22.5	62.8	12.9	1.8	3.08	25.7	59.6	11.9	2.8
		○ 4		2.83	20.0	50.0	23.7	6.3	2.79	22.6	43.6	24.6	9.2	2.88	24.0	49.2	18.2	8.5	2.93	26.5	45.1	22.6	5.8
	情報公開	○ 5	HPの活用	2.88	23.4	47.5	22.9	6.2	2.88	23.4	48.1	22.0	6.5	2.88	23.5	47.9	21.1	7.5	2.73	22.4	42.6	21.8	13.2
		○ 6		2.74	17.7	45.4	30.6	6.3	2.80	20.5	46.4	26.5	6.5	2.81	17.5	50.6	26.2	5.7	2.94	23.1	53.4	17.3	6.2
	危機管理	○ 7	避難訓練や安全対策	2.71	20.1	41.1	28.2	10.6	2.54	17.5	35.0	32.9	14.5	2.74	18.5	46.9	23.6	11.0	2.87	23.1	46.5	23.4	7.0
		○ 8		2.53	15.1	37.2	33.0	14.7	2.37	12.8	33.9	33.0	20.2	2.63	20.3	34.3	31.9	13.4	2.72	17.4	44.3	30.3	8.0
教育内容	知育	○ 9	学力向上における組織的な取組	2.85	21.9	46.9	25.9	5.2	2.77	20.5	46.1	25.0	8.3	2.94	23.9	49.0	23.6	3.6	2.98	26.0	50.8	18.7	4.6
		○ 10		2.96	23.9	51.7	21.1	3.3	2.96	23.8	54.2	17.6	4.5	3.03	24.3	56.6	17.4	1.8	2.93	24.1	52.4	16.8	6.7
	徳育	○ 11	社会規範の理解とモラルの醸成	2.93	23.0	52.4	19.6	5.0	2.89	23.3	49.9	20.9	6.0	2.94	24.3	50.9	19.2	5.7	2.88	21.3	53.0	18.3	7.3
		○ 12		3.09	25.9	58.5	14.1	1.5	3.15	31.5	55.2	11.6	1.8	3.18	31.3	56.3	11.0	1.5	3.16	32.8	53.1	11.0	3.1
生徒指導・生徒支援	体 育	○ 13	健康な身体づくり	2.96	24.3	50.9	21.3	3.6	2.89	26.4	43.9	23.1	6.5	3.08	29.5	52.7	14.8	3.0	3.09	32.1	48.8	16.0	3.1
		○ 14		2.82	21.2	46.5	25.6	6.7	2.80	20.5	48.1	22.8	8.6	2.93	23.1	52.1	20.7	4.2	2.91	22.3	52.7	18.3	6.7
	生徒指導	○ 15	中高大連携事業の実践	2.75	20.0	40.9	33.6	5.5	2.78	22.9	42.0	27.4	7.7	2.82	18.0	51.4	25.5	5.1	2.91	24.8	46.5	24.2	4.6
		○ 16		2.66	32.4	25.2	20.2	22.2	2.55	29.6	23.0	21.5	26.0	2.40	24.9	23.1	19.8	32.1	2.82	19.8	50.0	23.5	6.7
	カウンセリング	○ 17	指導方針の一貫性	2.55	10.9	41.5	38.7	8.8	2.47	9.9	42.6	34.5	12.9	2.57	11.1	44.9	34.0	9.9	2.69	14.7	48.3	29.1	8.0
		○ 18		2.85	24.5	43.6	25.2	6.7	2.78	22.3	44.0	24.4	9.2	2.75	22.2	41.7	25.2	10.8	2.82	22.0	46.8	22.6	8.6
生徒支援	進路指導	○ 19	部活動支援状況	3.10	31.1	50.2	16.3	2.5	3.02	28.9	49.7	17.6	3.9	3.05	28.1	52.2	16.4	3.3	3.10	30.8	50.3	15.9	3.0
		○ 20		2.65	17.8	39.6	32.3	10.3	2.50	15.1	37.7	32.2	15.1	2.74	15.7	49.1	28.3	6.9	2.89	22.8	49.2	22.5	5.5
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応	3.27	42.0	45.6	10.4	2.1	3.35	46.8	44.7	6.7	1.8	3.37	47.4	44.6	7.0	0.9	3.34	46.9	44.4	6.2	2.5

注：○は併設校共通項目 2.88 2.84 2.92 2.95

評価基準について A: そう思う B:どちらからかといえそう思う C:どちらからかといえそう思わない D: そう思わない

2018年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート 一 高中別一 【資料2②】

小項目	設 問 (生徒対象) 20項目	高等学校全体					中学校全体					
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.29	47.2	38.6	9.8	4.4	3.27	48.5	36.6	9.0	5.8
2		この学校に入学して良かったと思いますか。	2.95	31.6	41.6	17.4	9.4	2.96	32.7	40.8	17.1	9.5
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。	2.70	19.6	42.4	26.7	11.3	2.82	24.0	44.2	22.2	9.6
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	2.56	20.4	34.3	26.5	18.8	2.86	29.2	38.4	23.1	9.2
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	2.50	21.6	30.3	24.9	23.3	2.85	29.1	40.3	18.2	12.4
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	2.97	32.3	41.2	18.2	8.3	3.16	41.8	38.3	14.7	5.2
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	2.87	24.7	44.1	24.5	6.7	2.92	27.3	45.1	20.6	7.0
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	2.86	26.2	41.7	24.4	7.7	3.05	35.9	41.2	15.4	7.5
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	3.10	37.5	41.2	15.3	6.0	3.14	38.6	42.7	13.5	5.2
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	2.97	29.3	44.9	19.4	6.4	2.93	28.3	44.8	19.4	7.5
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	3.00	31.9	42.6	18.8	6.7	2.71	24.8	37.5	22.5	15.3
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	3.19	39.7	44.1	12.0	4.2	3.16	38.4	43.6	14.8	3.2
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.16	39.8	41.2	13.8	5.2	3.28	48.1	36.6	11.0	4.3
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.09	34.1	46.3	14.6	5.0	3.10	37.6	41.6	13.6	7.2
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	2.91	29.1	40.7	22.3	7.9	2.97	30.8	43.5	17.9	7.8
16	カウンセラー体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。	2.91	28.1	42.8	21.7	7.5	2.76	25.1	38.3	25.4	11.2
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	3.04	33.2	44.3	16.0	6.6	2.85	29.3	38.6	21.2	11.0
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.17	43.5	38.3	10.1	8.0	2.99	35.7	38.6	15.9	9.9
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じていますか。	3.26	45.7	39.4	10.7	4.2	3.23	43.2	40.9	12.2	3.8
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	2.83	26.9	38.9	24.4	9.8	3.07	39.4	35.9	18.1	6.7
21	学習環境	本校の施設・設備において、学習、生活、クラブなどの環境は整っていると思いますか。	3.35	51.7	35.8	8.2	4.2	3.34	53.8	32.9	6.9	6.3

評価平均 2018年度 2.99

2017年度 3.00

2016年度 3.00

2015年度 2.96

3.02

2.88

2.88

2.93

2018年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） —3カ年の推移—

【資料2-3】

分類	大項目	NO	小項目	2016年度			2017年度			学年別評価			2018年			学年別評価											
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年						
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.26	45.2	38.8	12.3	3.7	3.14	3.21	3.42	3.24	44.1	40.4	10.7	4.7	3.05	3.30	3.39	3.29	47.2	38.6	9.8	4.4	3.30	3.17	3.40
		○ 2		2.98	32.5	40.4	19.9	7.1	2.76	2.94	3.26	3.21	29.3	42.8	17.9	10.0	2.67	2.89	3.22	2.95	31.6	41.6	17.4	9.4	3.00	2.79	3.08
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.72	19.6	43.4	26.7	10.3	2.53	2.74	2.89	2.86	18.2	44.1	26.9	10.7	2.60	2.66	2.86	2.70	19.6	42.4	26.7	11.3	2.74	2.65	2.71
		○ 4		2.65	20.0	39.5	26.7	13.8	2.49	2.66	2.81	2.88	20.8	40.6	25.9	12.7	2.51	2.72	2.88	2.56	20.4	34.3	26.5	18.8	2.62	2.46	2.61
		○ 5		2.95	25.9	49.1	18.9	6.2	2.85	2.90	3.09	3.10	26.5	48.4	18.4	6.7	2.82	2.94	3.10	2.50	21.6	30.3	24.9	23.3	2.51	2.40	2.59
		○ 6		3.19	38.0	45.7	13.6	2.7	3.09	3.16	3.32	3.31	36.7	43.5	15.9	3.9	2.93	3.17	3.31	2.97	32.3	41.2	18.2	8.3	2.92	2.92	3.09
		○ 7		2.87	23.8	46.7	21.9	7.6	2.70	2.84	3.06	3.08	24.0	44.4	22.8	8.7	2.66	2.80	3.08	2.87	24.7	44.1	24.5	6.7	2.93	2.74	2.93
		○ 8		2.87	24.5	45.4	22.5	7.6	2.67	2.87	3.06	3.07	26.2	41.6	23.7	8.5	2.70	2.82	3.07	2.86	26.2	41.7	24.4	7.7	2.89	2.80	2.90
教育内容	知育	○ 9	スローラーナーへの対応	3.06	33.0	45.9	15.1	6.0	2.96	3.04	3.18	33.4	44.1	16.3	6.1	2.99	3.04	3.12	3.10	37.5	41.2	15.3	6.0	3.19	3.05	3.05	
		○ 10		2.98	28.7	46.8	18.0	6.5	2.86	2.95	3.12	3.08	28.5	45.6	19.6	6.3	2.87	2.95	3.08	2.97	29.3	44.9	19.4	6.4	3.04	2.86	3.00
		○ 11		2.95	29.2	43.6	20.1	7.1	2.75	2.99	3.10	3.09	28.6	42.4	20.8	8.1	2.77	2.90	3.09	3.00	31.9	42.6	18.8	6.7	3.09	2.87	3.04
		○ 12		3.17	38.1	44.6	13.4	3.9	3.13	3.16	3.21	3.24	40.3	42.0	14.3	3.3	3.16	3.19	3.24	3.19	39.7	44.1	12.0	4.2	3.22	3.11	3.25
生徒指導・生徒支援	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.13	36.1	44.5	15.4	4.0	3.11	3.10	3.17	3.17	35.3	43.7	15.9	5.1	3.04	3.07	3.17	3.16	39.8	41.2	13.8	5.2	3.24	3.04	3.18
		○ 14		3.07	32.1	47.6	15.2	5.1	2.93	3.07	3.20	3.17	32.4	44.7	16.2	6.6	2.94	3.00	3.17	3.09	34.1	46.3	14.6	5.0	3.17	2.97	3.15
		○ 15		2.87	24.9	45.1	22.3	7.6	2.64	2.92	3.06	3.09	26.6	44.3	21.6	7.6	2.72	2.91	3.09	2.91	29.1	40.7	22.3	7.9	3.01	2.75	2.97
		○ 16		2.78	32.1	31.3	20.0	16.6	2.34	2.81	3.19	3.11	31.5	30.7	18.8	18.9	2.43	2.75	3.11	2.91	28.1	42.8	21.7	7.5	2.91	2.80	3.02
		○ 17		2.96	28.8	44.5	20.3	6.4	2.76	2.90	3.21	3.21	29.3	46.7	17.9	6.1	2.86	2.93	3.21	3.04	33.2	44.3	16.0	6.6	3.11	2.94	3.07
		○ 18		3.08	38.0	39.5	15.0	7.5	3.00	3.04	3.20	3.27	39.1	40.0	13.1	7.8	3.02	3.05	3.27	3.17	43.5	38.3	10.1	8.0	3.26	3.04	3.22
		○ 19		3.16	39.5	41.7	13.9	4.8	3.10	3.16	3.21	3.29	40.9	40.4	13.2	5.6	3.08	3.14	3.29	3.26	45.7	39.4	10.7	4.2	3.37	3.13	3.29
		○ 20		2.96	28.6	45.9	17.9	7.6	2.77	2.99	3.11	3.15	28.8	43.6	19.6	8.0	2.72	2.94	3.15	2.83	26.9	38.9	24.4	9.8	2.84	2.67	2.98
		○ 21		3.29	49.0	35.8	9.9	5.3	3.22	3.26	3.37	3.45	51.1	33.6	11.2	4.1	3.25	3.26	3.45	3.35	51.7	35.8	8.2	4.2	3.46	3.24	3.35

注：○は併設校共通項目

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらからかといえそう思う C(2):どちらからかといえそう思わない D(1):そう思わない

2018年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) —3カ年の推移—

【資料2-4】

分類	大項目	NO	小項目	2016年度(全学年)			2017年度(全学年)			2018年度(全学年)			学年別評価			学年別評価											
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	1年	2年	3年								
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.21	45.0	36.7	12.6	5.7	3.16	3.33	3.14	3.23	47.6	33.6	13.7	5.0	3.39	3.02	3.29	3.27	48.5	36.6	9.0	5.8	3.30	3.34	3.18
		○ 2		2.87	30.5	37.1	21.6	10.9	2.91	3.15	2.51	3.02	35.7	39.0	17.3	8.1	3.27	2.59	3.18	2.96	32.7	40.8	17.1	9.5	3.22	3.09	2.59
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.63	18.9	39.8	26.6	14.6	2.68	2.79	2.38	2.78	22.6	43.9	22.9	10.6	2.99	2.51	2.85	2.82	24.0	44.2	22.2	9.6	2.88	2.88	2.70
		○ 4	HPの活用	2.76	26.0	38.4	21.4	14.2	2.80	2.95	2.51	2.99	35.7	35.4	21.6	7.3	3.14	2.74	3.08	2.86	29.2	38.4	23.1	9.2	2.93	2.89	2.77
		○ 5	初動対応	2.81	27.5	37.7	22.6	12.2	2.75	2.96	2.70	2.94	29.3	41.3	23.5	5.9	3.10	2.70	3.02	2.85	29.1	40.3	18.2	12.4	3.05	2.83	2.70
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.05	37.1	37.9	18.4	6.6	3.08	3.17	2.86	3.14	43.5	34.3	15.6	6.7	3.29	2.89	3.25	3.16	41.8	38.3	14.7	5.2	3.14	3.23	3.11
		○ 7	学力向上における組織的な取組	2.83	25.5	42.1	21.8	10.6	2.86	2.99	2.59	3.01	33.1	42.3	16.8	7.8	3.16	2.73	3.11	2.92	27.3	45.1	20.6	7.0	2.98	3.08	2.71
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.88	30.4	36.7	23.2	9.7	2.82	3.11	2.68	3.04	37.8	36.4	17.9	7.8	3.36	2.63	3.13	3.05	35.9	41.2	15.4	7.5	3.09	3.17	2.89
教育内容	徳育	○ 9	保護者との連携	2.98	37.0	35.2	16.9	10.9	3.04	3.07	2.82	3.11	42.6	34.3	15.0	8.1	3.36	2.88	3.10	3.14	38.6	42.7	13.5	5.2	3.21	3.14	3.07
		○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.76	23.4	40.5	24.9	11.3	2.79	2.89	2.57	2.93	30.3	41.3	19.1	9.3	3.15	2.66	2.97	2.93	28.3	44.8	19.4	7.5	3.05	2.98	2.77
		○ 11	いじめへの対応	2.67	25.4	34.1	22.8	17.6	2.63	2.85	2.52	2.77	28.3	36.4	21.3	14.0	2.97	2.46	2.88	2.71	24.8	37.5	22.5	15.3	2.95	2.81	2.39
生徒指導・生徒支援	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.16	39.0	42.7	13.5	4.9	3.16	3.28	3.01	3.19	42.3	40.3	12.3	5.0	3.40	2.88	3.28	3.16	38.4	43.6	14.8	3.2	3.16	3.18	3.15
		○ 13	中高大連携事業の実践	3.12	39.4	40.5	12.6	7.5	3.05	3.31	2.99	3.29	50.1	35.6	8.7	5.6	3.54	3.01	3.32	3.28	48.1	36.6	11.0	4.3	3.26	3.42	3.15
		○ 14	指導方針の一貫性	2.96	28.2	46.3	18.7	6.9	2.98	3.09	2.78	3.05	35.9	41.2	14.8	8.1	3.36	2.59	3.18	3.10	37.6	41.6	13.6	7.2	3.14	3.19	2.97
教員研修	校内環境	○ 15	家庭との連携状況	2.82	26.4	39.1	24.6	9.9	2.85	3.03	2.55	2.92	28.8	41.8	21.5	7.9	3.01	2.75	2.98	2.97	30.8	43.5	17.9	7.8	3.02	3.01	2.90
		○ 16	カウンセリング体制	2.77	37.4	25.6	13.5	23.6	2.47	2.88	3.01	2.75	37.6	23.0	16.3	23.0	2.34	2.68	3.18	2.76	25.1	38.3	25.4	11.2	2.75	2.71	2.83
		○ 17	進路指導体制	2.67	21.6	38.5	25.0	14.9	2.57	2.95	2.48	2.89	29.9	38.5	22.3	9.2	3.06	2.59	3.01	2.85	29.3	38.6	21.2	11.0	2.87	2.94	2.75
その他	学習環境	○ 18	部活動支援状況	2.75	29.1	34.6	18.4	17.9	2.79	2.87	2.56	2.95	33.0	38.8	18.4	9.8	3.21	2.56	3.06	2.99	35.7	38.6	15.9	9.9	3.19	2.96	2.84
		○ 19	学校行事指導体制	3.03	38.3	34.6	18.4	8.6	3.09	3.20	2.75	3.22	46.1	36.5	11.2	6.2	3.50	2.96	3.20	3.23	43.2	40.9	12.2	3.8	3.27	3.30	3.11
その他	学習環境	○ 20	教員研修体制	2.76	26.2	38.0	20.7	15.0	2.77	3.01	2.46	2.85	28.9	38.5	20.8	11.8	2.98	2.55	2.99	3.07	39.4	35.9	18.1	6.7	3.15	3.16	2.92
		○ 21	学習環境	3.07	43.3	32.0	12.8	11.9	3.09	3.17	2.93	3.24	50.9	30.2	10.7	8.3	3.37	3.00	3.32	3.34	53.8	32.9	6.9	6.3	3.36	3.32	3.35

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4:そう思う 3:どちらかといえばそう思う 2:どちらかといえばそう思わない 1:そう思わない

2018年度 授業評価分析資料(教科別)

2018年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国語				社会				数学				理科				英語								
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
	3.33	3.30	3.36	3.35	3.34	3.28	3.37	3.45	3.44	3.45	3.17	3.30	3.27	3.36	3.39	3.24	3.43	3.45	3.39	3.57	3.25	3.33	3.26	3.30	3.36
1	3.51	58.7%	34.7%	5.5%	1.1%	3.61	63.5%	33.9%	2.4%	0.2%	3.60	64.9%	30.7%	4.1%	0.3%	3.69	73.3%	23.4%	2.8%	0.5%	3.51	59.2%	33.7%	6.1%	1.0%
2	3.45	56.8%	33.6%	7.6%	2.1%	3.65	69.9%	26.5%	2.7%	0.9%	3.41	55.6%	31.8%	10.7%	1.9%	3.65	70.2%	25.1%	4.0%	0.7%	3.43	53.6%	37.2%	7.7%	1.5%
3	3.04	38.6%	33.9%	20.9%	6.6%	3.10	43.6%	30.4%	18.4%	7.6%	3.14	44.9%	31.5%	16.7%	6.9%	3.37	59.2%	24.7%	10.4%	5.7%	3.12	41.3%	35.2%	18.1%	5.4%
授業評価	3.53	3.38	3.47	3.49	3.45	3.52	3.58	3.52	3.50	3.59	3.36	3.43	3.48	3.46	3.62	3.36	3.57	3.58	3.60	3.74	3.42	3.49	3.42	3.37	3.49
4	3.56	67.5%	24.0%	5.4%	3.1%	3.56	66.2%	24.7%	8.0%	1.1%	3.61	71.1%	21.0%	5.4%	2.5%	3.71	77.7%	16.8%	4.0%	1.5%	3.51	63.0%	28.0%	6.2%	2.8%
5	3.55	65.6%	25.3%	7.2%	1.9%	3.74	78.1%	18.6%	2.7%	0.5%	3.72	77.6%	17.9%	3.8%	0.8%	3.77	81.1%	16.0%	1.8%	1.0%	3.53	63.3%	28.7%	6.2%	1.9%
6	3.40	56.8%	29.3%	11.0%	2.9%	3.60	69.5%	22.5%	6.4%	1.6%	3.62	70.6%	22.3%	5.9%	1.3%	3.75	79.3%	17.2%	3.0%	0.5%	3.46	59.1%	30.4%	7.9%	2.6%
7	3.39	58.5%	27.0%	9.2%	5.2%	3.51	67.5%	22.1%	4.2%	6.2%	3.59	68.9%	23.5%	5.1%	2.5%	3.72	77.6%	17.9%	3.3%	1.2%	3.47	60.2%	30.3%	6.0%	3.4%
8	3.50	62.0%	28.6%	6.2%	3.2%	3.59	68.2%	24.3%	5.8%	1.6%	3.61	68.8%	25.2%	4.6%	1.4%	3.75	79.1%	17.6%	2.7%	0.7%	3.55	64.3%	28.3%	5.5%	2.2%
9	3.43	59.9%	27.0%	9.4%	3.7%	3.63	71.1%	22.9%	4.0%	2.0%	3.69	74.7%	20.2%	4.1%	1.0%	3.75	79.0%	17.7%	2.3%	1.0%	3.43	56.3%	32.9%	8.6%	2.2%
10	3.47	60.1%	29.6%	7.2%	3.2%	3.64	70.5%	24.2%	4.2%	1.1%	3.70	75.1%	21.0%	2.8%	1.1%	3.79	81.8%	15.7%	2.2%	0.3%	3.57	66.7%	26.1%	5.0%	2.1%
11	3.41	58.4%	29.2%	7.4%	5.0%	3.65	70.3%	25.8%	2.8%	1.1%	3.68	72.6%	24.1%	2.5%	0.9%	3.76	78.9%	18.6%	2.2%	0.3%	3.55	63.3%	30.3%	4.6%	1.8%
12	3.55	65.7%	25.4%	6.6%	2.2%	3.69	75.5%	20.1%	2.6%	1.8%	3.63	70.6%	23.7%	4.3%	1.5%	3.70	75.9%	19.6%	3.2%	1.3%	3.55	63.5%	29.8%	5.0%	1.7%
13	3.49	61.4%	29.1%	6.9%	2.6%	3.50	64.5%	23.9%	8.8%	2.7%	3.58	66.0%	26.9%	5.9%	1.3%	3.77	80.6%	16.1%	2.7%	0.7%	3.55	64.4%	27.8%	6.2%	1.7%
14	3.39	56.2%	30.6%	9.0%	4.3%	3.49	62.3%	27.2%	7.3%	3.1%	3.39	57.3%	28.3%	10.8%	3.6%	3.67	74.2%	20.6%	3.3%	1.8%	3.34	50.1%	37.4%	9.1%	3.4%
15	3.38	55.0%	32.1%	9.1%	3.9%	3.55	64.5%	28.2%	5.3%	2.0%	3.59	65.8%	28.9%	4.1%	1.1%	3.74	77.4%	19.2%	2.8%	0.5%	3.45	57.3%	32.4%	8.3%	2.0%
16	3.39	55.7%	31.3%	9.2%	3.8%	3.52	63.5%	27.2%	7.4%	1.9%	3.61	66.6%	28.6%	3.8%	1.0%	3.74	79.5%	17.0%	2.0%	1.5%	3.42	55.0%	34.1%	8.3%	2.6%

設問\評価	保健体育				芸術				情報				技術・家庭												
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D					
	3.59	3.56	3.56	3.71	3.64	2.90	3.31	3.65	3.58	3.55	3.61	3.74	3.77	3.77	3.68	3.62	3.77	3.68	3.60	3.68					
1	3.78	80.8%	16.6%	2.2%	0.4%	3.71	75.0%	21.1%	3.9%	0.0%	3.94	94.4%	5.6%	0.0%	3.81	81.2%	18.8%	0.0%	0.0%	3.68	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	
2	3.74	77.7%	19.5%	2.0%	0.9%	3.70	75.0%	21.1%	2.6%	1.3%	3.78	80.6%	16.7%	2.8%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
3	3.41	58.6%	26.9%	11.6%	2.8%	3.25	53.9%	26.3%	10.5%	9.2%	3.67	69.4%	27.8%	2.8%	0.0%	3.45	56.5%	34.1%	7.1%	2.4%	3.60	73.5%	26.5%	0.0%	0.0%
授業評価	3.66	3.62	3.62	3.74	3.72	2.95	3.06	3.69	3.46	3.66	3.34	3.80	3.70	3.82	3.60	3.78	3.72	3.68	3.72	3.68	3.62	3.72	3.68	3.72	
4	3.77	82.4%	14.0%	2.2%	1.4%	3.21	53.9%	19.7%	19.7%	6.6%	3.97	97.2%	2.8%	0.0%	3.92	91.8%	8.2%	0.0%	0.0%	3.68	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	
5	3.75	80.0%	16.0%	2.7%	1.2%	3.68	77.6%	14.5%	6.6%	1.3%	3.86	88.9%	8.3%	2.8%	0.0%	3.80	81.2%	17.6%	1.2%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
6	3.72	77.4%	17.8%	4.2%	0.6%	3.70	76.3%	17.1%	6.6%	0.0%	3.75	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
7	3.68	76.9%	16.7%	4.1%	2.3%	3.50	68.4%	18.4%	7.9%	5.3%	3.97	97.2%	2.8%	0.0%	3.55	63.5%	29.4%	5.9%	1.2%	3.60	73.5%	26.5%	0.0%	0.0%	
8	3.76	80.9%	15.1%	2.8%	1.1%	3.74	82.9%	10.5%	3.9%	2.6%	3.69	77.8%	16.7%	2.8%	2.8%	3.67	68.2%	30.6%	1.2%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
9	3.75	79.9%	16.2%	3.2%	0.7%	3.76	82.7%	12.0%	4.0%	1.3%	3.86	88.9%	8.3%	2.8%	0.0%	3.80	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
10	3.73	77.4%	19.3%	2.2%	1.1%	3.70	78.9%	13.2%	6.6%	1.3%	3.92	91.7%	8.3%	0.0%	3.87	87.1%	12.9%	0.0%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%	
11	3.72	77.8%	17.0%	4.1%	1.1%	3.79	80.3%	18.4%	1.3%	0.0%	3.78	80.6%	16.7%	2.8%	0.0%	3.68	70.6%	27.1%	2.4%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
12	3.75	79.1%	18.0%	1.7%	1.1%	3.74	77.6%	18.4%	3.9%	0.0%	3.69	72.2%	25.0%	2.8%	0.0%	3.76	77.6%	21.2%	1.2%	0.0%	3.76	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
13	3.67	73.9%	20.8%	4.1%	1.2%	3.63	71.1%	21.1%	7.9%	0.0%	3.72	77.8%	16.7%	5.6%	0.0%	3.59	67.1%	25.9%	5.9%	1.2%	3.67	73.9%	20.8%	4.1%	1.2%
14	3.66	73.4%	20.9%	4.1%	1.6%	3.70	76.3%	19.7%	1.3%	2.6%	3.72	77.8%	19.4%	0.0%	2.8%	3.64	72.9%	20.0%	4.7%	2.4%	3.64	72.9%	20.0%	4.7%	2.4%
15	3.68	74.5%	20.1%	4.1%	1.2%	3.71	80.0%	12.0%	6.7%	1.3%	3.83	86.1%	11.1%	2.8%	0.0%	3.67	72.9%	22.4%	3.5%	1.2%	3.67	72.9%	22.4%	3.5%	1.2%
16	3.74	78.4%	17.8%	3.0%	0.9%	3.72	82.9%	9.2%	5.3%	2.6%	3.83	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	3.69	70.2%	28.6%	1.2%	0.0%	3.69	70.2%	28.6%	1.2%	0.0%

※自己評価と授業評価  
黄色の帯のところは、過去5年間の推移  
2014年→2015年→2016年→2017年→20

※A～Dの数値は構成比  
単位は%

No.	設 問	高等学校				中学校					
		評価 A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価 A(4)	B(3)	C(2)	D(1)		
	生徒自身の自己評価	自己評価平均値:3.56 (昨年 3.50)				自己評価平均値: 3.13(昨年 3.28)					
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。	3.70	73.2%	23.7%	2.6%	0.5%	3.38	47.4%	43.6%	8.3%	0.8%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。	3.63	69.1%	25.8%	4.2%	0.9%	3.30	46.2%	39.8%	11.3%	2.7%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。	3.36	54.6%	29.9%	12.1%	3.4%	2.70	25.4%	33.4%	27.9%	13.3%
	教員に対する授業評価	授業評価平均値:3.67 (昨年 3.56)				授業評価平均値:3.39 (昨年 3.44)					
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。	3.68	75.4%	18.7%	4.3%	1.6%	3.42	58.4%	29.2%	8.3%	4.1%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。	3.72	76.9%	19.0%	3.1%	1.0%	3.52	64.3%	25.9%	7.8%	2.0%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。	3.65	72.8%	20.5%	5.2%	1.4%	3.40	54.4%	33.5%	10.1%	2.0%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。	3.65	73.3%	20.7%	3.9%	2.1%	3.25	50.6%	31.1%	10.7%	7.6%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。	3.70	75.8%	19.9%	3.0%	1.3%	3.37	53.0%	34.4%	9.7%	3.0%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。	3.61	70.3%	22.3%	5.5%	1.9%	3.46	57.8%	32.2%	7.7%	2.3%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。	3.82	84.8%	13.2%	1.5%	0.5%	3.44	57.7%	30.1%	10.4%	1.8%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に答えましたか。	3.71	76.5%	19.5%	2.7%	1.4%	3.46	58.0%	32.0%	8.0%	2.0%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。	3.67	73.0%	22.2%	3.2%	1.6%	3.41	53.3%	37.3%	6.7%	2.7%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。	3.77	80.9%	16.0%	2.5%	0.6%	3.45	60.1%	27.6%	9.8%	2.5%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。	3.68	73.8%	21.6%	3.5%	1.6%	3.42	56.4%	32.5%	7.6%	3.5%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。	3.80	82.3%	16.1%	0.8%	1.7%	3.48	59.5%	31.3%	7.4%	1.8%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。	3.65	72.3%	22.3%	4.1%	1.3%	3.33	50.6%	34.4%	12.0%	3.0%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。	3.75	78.2%	19.1%	2.0%	0.7%	3.23	47.2%	31.7%	18.0%	3.1%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。	3.50	63.2%	26.5%	7.1%	3.2%	3.27	46.0%	38.9%	11.5%	3.6%
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。	3.75	79.4%	17.7%	1.9%	1.1%	3.19	44.1%	36.6%	13.7%	5.6%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。	3.58	67.1%	26.1%	5.0%	1.8%	3.38	51.6%	36.7%	9.5%	2.3%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。	3.75	79.1%	17.7%	2.4%	0.8%	3.36	55.5%	28.0%	13.4%	3.0%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。	3.63	70.8%	22.9%	4.7%	1.6%	3.38	52.1%	36.6%	8.4%	2.9%